

Hokkaido University News

北大時報

平成26年

11

No. 728 November 2014

秋の叙勲に本学から2氏

お知らせ

- ・企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」
第2期：高田屋嘉兵衛とゴロヴニーン捕虜事件 開催中
- ・「北海道大学読本」改訂版の発行



1 スーパーグローバル大学創成支援

■ 全学ニュース

- 2 秋の叙勲に本学から2氏
- 5 西川公也農林水産大臣が本学を視察
- 6 北海道大学交流デー（韓国 全北大学校、江陵原州大学校）を開催
- 7 「北海道大学進学相談会」を名古屋と大阪で開催
- 8 イチョウ並木の一般開放を実施
- 9 北大フロンティア基金
- 11 平成26年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催
- 12 平成26年度北海道大学鈴木章科学奨励賞—自然科学実験—被表彰者の決定
- 12 平成26年度小島三司奨学金受給者の決定
- 12 平成26年度北海道大学フロンティア奨学金受給者の決定
- 13 「北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）」、「日本語・日本文化研修コース（日研コース）」及び「日本語研修コース」入学式を挙
- 14 北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙
- 15 北大インターナショナルハウスで消防避難訓練を実施
- 15 国際ワークショップ“New Frontiers in Biomineral Formation Research：From Pre-nucleation Clusters to the Final Crystals”を開催

■ 部局ニュース

- 16 文学研究科「書香の森」にて「プラス1ピースの読書会」を開催
- 17 歯学研究科で市民公開特別講座「食事はどのようにして楽しいの？」を開催
- 17 経済学部で第1回プレゼン大会を開催
- 18 経済学研究科・経済学部で「学部生、研究生のための大学院ガイダンス」を開催
- 19 経済学研究科・経済学部で外国人留学生懇親会を開催
- 20 生命科学学院が「第2回生命科学国際シンポジウム」を開催
- 21 函館キャンパスで「秋のキャンパス一斉清掃」を実施
- 21 北海道大学病院極東医療ミッションとしてロシア極東3地域を訪問



北海道大学交流デー
（韓国 全北大学校、江陵原州大学校）



北海道大学進学相談会

- 22 北海道大学病院で第11回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップを開催
- 23 消防・防災訓練等の実施
- 26 薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙
- 26 北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭を挙
- 27 低温科学研究所が国立大学附置研究所・センター長会議第1部会シンポジウム及び部会会議を開催
- 28 附属図書館講演会「Hokkaido University：キャンパスの国際化」を開催
- 29 総合博物館で「2014年度前期ミュージアムマイスター」認定式を挙
- 30 大島正健家関係資料を大学文書館で受贈

■ お知らせ

- 31 企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」第2期：高田屋嘉兵衛とゴロヴニーン捕虜事件 開催中
- 32 「北海道大学読本」改訂版の発行

■ 諸会議の開催状況 33

■ 学内規程 33

■ 表敬訪問

- 34 国内
- 34 海外

■ 人事 35

■ 訃報

- 36 名誉教授 宮原 孝四郎 氏
- 36 名誉教授 齋藤 玲 氏

■ 資料

- 37 役職員数（平成26年10月1日現在）
- 38 在籍学生数（平成26年10月1日現在）
- 40 広報誌等一覧（平成26年10月調査）



生命科学研究院
「第2回生命科学国際シンポジウム」



函館キャンパス「秋のキャンパス一斉清掃」



消防・防災訓練等の実施



大学文書館 大島正健家関係資料を受贈

表紙：イチョウ並木

裏表紙：北の鉄道風景⑩ 初雪の朝

スーパーグローバル大学創成支援

理事・副学長 うえだ いちろう
上田 一郎



北海道大学は、平成26年度スーパーグローバル大学創成支援でタイプAに採択されました。

本事業の公募目的と背景には、次のように書かれています。「我が国の大学が国の成長を牽引する知的拠点として社会の期待に応え、世界中から優秀な研究者や学生を集め、グローバルに活躍する人材を輩出するとともに、世界の高等教育マーケットにおける存在感を発揮し世界に伍していくためには、大学個々の特性を伸張させつつ、一つひとつの大学の体制や組織文化そのものの国際通用性を高め、国際競争力を向上させなくてはなりません。（中略）徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う大学（タイプA）を重点支援します。」

つまり、本事業費によって、単体のシステム改革や教育事業をどう行うかを提案するのではなく、国際化するにあたって、大学としてどのような教育とガバナンスを行うか示す必要がありました。従って、申請書には、これから本学がどのような教育改革やガバナンス改革を行っていくのかを書き込みました。申請書の全文は、次のURLからダウンロードできます。

http://www.hokudai.ac.jp/jimuk/gakunai/pdf/HUCI_proposal.pdf
(学内限定)

1-4-4改革プラン

本学は、平成26年3月に「北海道大学近未来戦略150」を創基150周年たる平成38年に向けた目標として作りました。今回の申請は、これに基づいたものです。具体的には、総長のガバナンスのもとで4つの教育改革と、これを可能にする4つのシステム改革を柱として提案しました。これを1-4-4改革プランと呼びます。4つの教育改革とは、1) NITOBÉ教育システムによる先進的教育の実施、2) 異分野連携による「国際大学院群」の新設、3) ラーニング・サテライトの機動的開設、4) サマー・インスティテュートの展開、です。これを支える4つのシステム改革とは、1) 全学的な教学マネジメント体制の整備、2) 人事制度の国際化、3) 国際対応力の高度化、4) 国際広報力の強化、です。

サマー・インスティテュートとラーニング・サテライト

本事業では、主にNITOBÉ教育システムと、サマー・インスティテュートやラーニング・サテライト及び国際広報力の強化を重点的に支援します。NITOBÉ教育システムについては別に譲ることとして、ここではサマー・インスティテュート（SI）とラーニング・サテライト（LS）について説明します。

SIは本学キャンパスで、4学期制の2学期目（主に6・7月）に英語による様々な科目を開講するものです。科目は既存のものでも新たに作っても結構です。集中講義であれば、3週間が標準でしょう。LSは海外で臨機応変に講義を開講します。北大のSIとLSには2つの目的があります。一つは、日本人学生が本学キャンパスで、国際化した教育環境を得られること（SI）、また海外で本学の講義や実習が開講されること（LS）。もう一つは、教員がSIやLSを通じて、海外の研究者と共同で教育内容を作り上げたり、研究を行うことです。こうしてSIやLSを、学生のための教育環境としてはもちろんのこと、教員や事務職員が教育・研究の国際化の現場としても利用することが目的です。

本学として、単純に留学生を増やしたり、本学の学生を海外に派遣するだけでは、本当の意味での国際化とは言えません。本学キャンパスで、世界に通用する教育と研究が行われ、海外の学生や研究者・教育者が本学キャンパスに来たいと感じるようになってこそ、初めて国際化したと言えるのではないのでしょうか。このためには、グローバルに通用する英語による教育や、外国人の研究者が本学で教育研究に関われるような運営体制・サポート体制が必要です。ただし、国や地域によってディプロマ・ポリシーや講義の単位の考え方が違うわけですから、教育の国際化はケースバイケースでこれから一つひとつ作り上げていく必要があります。

こうした国際化の実験場として、SIとLSを全学の構成員に利用していただきたいと思います。

スーパーグローバル大学創成支援は、中間評価を経て10年間続きます。この10年で北海道大学が本当の意味で国際化することを願っています。

■全学ニュース

秋の叙勲に本学から2氏

この度、本学関係者の次の2氏が、平成26年秋の叙勲を受けることについて、11月3日（月・祝）に発表となりました。

勲章	経歴	氏名
瑞宝中綬章	名誉教授（理学研究科）	引地邦男
瑞宝単光章	元 北海道大学病院副看護部長	谷口満里子

各氏の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績に対し、授与されたものです。各氏の受章にあたっての感想、功績等を紹介します。

（総務企画部広報課）



ひきち くに お
引地 邦男 氏

感想

この度、はからずも瑞宝中綬章の叙勲の榮譽を賜り、心から光栄に存じます。これも皆様方のお力添えと感謝申し上げます。

私は昭和30年北海道大学理類入学から平成9年退職まで、一貫して北大にお世話になりました。昭和39年大学院物理学専攻を卒業し学位をいただき、新設の理学部高分子学科の古市二郎教授のもとに助手として採用されました。学部3年生の学生実験と4年生の卒業研究の指導を行うとともに、高分子の分子運動の研究に携わりました。古市先生の研究に対する姿勢は厳しく、時々行われる研究の進捗状況の御前報告では、しばしば「それはファクト（fact）か？」と聞かれていたことが思い出されます。修士2年の時、古市先生が機関研究費（今の科学研究費）で広幅核磁気共鳴装置（NMR）を導入され、私がそれを使って高分子の分子運動の研究をさらに押し進めることができました。分子運動の研究には当時いろいろな方法がありましたが、NMRが最も先端的な方法でしたので、私は「ラセン高分子の分子運動」と題する学位論文を書くことができました。昭和42年講師に命じられ、ほとんど同時にアメリカアルゴンヌ国立研究所生物部門へ2年間研究出張させていただきました。そこでは核酸のスタッキング構造をコンピュータでシミュレーションする仕事に携わり、大型コンピュータをふんだんに使うことができました。

NMRには溶液状態で測定する高分解能NMRがあります。これは分子構造を決めるのに有効な方法で有機化学者がよく用います。私も「構造と物性の相関」を研究する上から高分解能NMRに興味を持ち、低温研、免疫研、工学部、薬学部、理学部化学科と、高分解能NMRを持つ研究室へ装置を借りに出かけてお世話になりました。そうして

いる間、私の研究室にも60Mzパルスフーリエ変換の高分解能NMRが導入され、¹³C共鳴の緩和時間の測定が容易になり、ラセン高分子の側鎖の運動を解析することができました。

その後、超電導磁石が開発され、NMRにも利用される様になり、理学部にも当時世界最高級の500MHzパルスフーリエ変換高分解能NMRが導入され、その運営の責任を私に任せられました。分解能が格段に向上したので、タンパク質の構造解析も可能になりました。化学第2学科の八木教授と共同で、カルモデュリンのカルシウムイオン結合に伴う構造変化の研究を行いました。退職間際には、超電導磁石を用いた固体NMR装置も導入され、高分子ブレンドの研究に利用しました。

最後になりましたが、これまで長い間お世話になった皆様に感謝申し上げますとともに、北海道大学のますますの発展をお祈り申し上げます。

功績等

引地邦男氏は高分子物理学、生物物理学の教育、研究に努めました。特に、いち早く核磁気共鳴（NMR）法を用いた高分子物質の構造と分子運動の観測手段を取り入れ、蛋白質、核酸を含む高分子物質の性質と構造の関係について実験的・理論的研究を進め、我が国の高分子科学及び生物物理学の進歩と発展を促進しました。この間、理学部長・理学研究科長として大学の管理・運営に尽力し、全国に先駆けて大学院重点化を行い、本学の発展及び我が国の基礎科学重点推進政策に貢献しました。

同氏の研究業績は大きく3つに分けられます。第一は、広幅NMRによる高分子固体の分子運動と固体物性の研究です。高分子を構成する原子の核スピン同士の相互作用や熱運動を観測し、固体中の高分子鎖の局所構造と分子運動特性の関係を調べ、従来の構造（X線回折）及び分子運動測定手段（力学緩和、誘電緩和）による結果と比較し、高分子の微細構造と巨視的な物性の対応関係を解明しまし

た。長い側鎖を持つポリアミノ酸について、アルファヘリックス主鎖が無定形の側鎖の中に浮かんでいる2相モデル構造を提唱し、分子運動的に正当性を解明しました。また、ポリエーテル系高分子結晶中での高分子鎖の分子運動の広幅NMR研究や、X線回折の散漫散乱、温度因子等の構造情報から分子運動特性を解明する実験的、理論的研究を行いました。第二は、高分解能NMRを用いた生体高分子と金属イオンの相互作用に関する研究です。着目スピンの周りの微小な磁場環境の違いを検出できる高分解能NMRを、生体分子と常磁性金属イオンとの相互作用解明に用いました。水溶液中におけるポリアミノ酸と常磁性金属イオンとの相互作用、及び常磁性シフト、常磁性緩和の現象を通して原子レベルで高分子-金属イオンの相互作用を明らかにしました。またその発展として、蛋白質と金属イオンの相互作用の研究を行い、カルシウムイオン結合蛋白質であるカルモジュリンにカルシウムイオンが4個結合すること、そのうち2個が強くCドメインに、残りの2個が弱くNドメインに結合することを、初めてNMRにより明らかにしました。第三は、新しいNMR測定法の開発と応用の研究です。新規のパルスシーケンスを開発し、二次元NMR測定法を進展させ、その普及に先導的役割を果たしました。また、固体NMRの新たな応用への道を開き、無定形高分子固体物性の構造的基盤構築に貢献するとともに、従来詳細な識別ができなかったビニル系高分子のNMRシグナルの帰属に関する一般的ルールを確立しました。さらに、固体NMRを用いた高分子ブレンドの研究を行い10から300オングストロームのスケールにおけるブレンドの相溶性を解明しました。

略 歴

生年月日 昭和11年1月2日
 昭和39年4月 北海道大学理学部高分子学科助手
 昭和42年6月 北海道大学理学部高分子学科講師
 昭和42年7月 } 米国アルゴンヌ国立原子力研究所生物医学部門客員研究員
 昭和44年9月 }
 昭和44年11月 北海道大学理学部高分子学科助教授
 昭和52年2月 北海道大学理学部高分子学科教授
 平成5年4月 } 北海道大学理学部長・理学研究科長(2期)
 平成9年3月 }
 平成11年3月 北海道大学停年退職
 平成11年4月 北海道大学名誉教授

(理学院・理学研究院・理学部)



谷口 満里子 氏

感 想

この度、はからずも叙勲の荣誉を賜り身に余る光荣と感激いたしております。これもひとえに関係の皆様のご尽力の賜物と深く感謝

し、お礼申し上げます。

私は昭和46年北海道大学医学部附属看護学校入学以来、定年退職した平成24年3月までの42年間、北海道大学の中で過ごさせていただきました。先日も北13条の黄色にそまった銀杏並木を歩きながら細かった幹を思い出し、時を感じておりました。

振り返ってみますと第一外科に採用された当時は看護師の人数も少なく患者さん60人に看護師が3人という夜勤でした。このような厳しい環境の中でも先輩・同僚達と中心静脈栄養を施行された患者さん(当時は終日ベッド上生活を強いられた)が歩けるように点滴架台の原型を考えたり、体のどこかにドレーンが挿入されると入浴できなかった患者さんへの安全な入浴方法を検討して医師の承諾を得たなどの患者さんの生活を援助したりという多くの体験が、その後の長い看護師人生の礎となりました。また採用当時先天性胆道閉鎖症の小児は殆どが生後1年未満で亡くなっていました。しかし現在は平成11年に生体肝移植を受けた赤ちゃんは元気な中学生になっています。医療の進歩を実感するとともに北大病院における生体肝移植に関わったことは幸せなことでした。精神神経科では患者さんの生活の質と危険回避のための持ち物管理で悩みましたが、よき上司の理解のもと規制緩和を実現することができました。また、多くの患者さんとの関わりの中から多くのことを学ばせていただくことができました。この学びは管理者となった未熟な私にとって大きな財産となりました。病棟師長となつてからは医療制度の変遷の中、看護の質を担保しながらの在院日数短縮・病床稼働率アップなどの課題に医師・看護師一丸となり取り組みました。副看護部長となり病院機能評価受審(平成18年)など病院としての事業に携わる中で多くの病院関係者の皆様から自身の視点を広げていただき、職務を全うさせていただくことができました。急性期看護補助体制加算取得や看護部長年の要望であった無線機能式のナースコール更新をはじめとする看護師の業務軽減に関わることができ実現されていったことは嬉しい思い出です。

私の39年の看護師としての年月は、よき先輩・同僚・後輩に恵まれ様々な方にご支援いただいたおかげと感謝してもし尽くせません。今後はこの荣誉に恥じることはないよう過ごしてまいりたいと思います。

最後になりましたが、北海道大学・北海道大学病院・看護部の発展をご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

功績等

谷口満里子氏は、昭和27年6月22日に北海道美唄市に生まれ、同46年3月北海道美唄東高等学校を卒業し、同49年3月に北海道大学医学部附属看護学校卒業後、同年4月北海道大学医学部附属病院に採用されました。昭和60年副看護婦長、平成2年看護婦長、同18年副看護部長を歴任し、同25年3月に北海道大学病院を定年にて退職するまで看護管理・教育の充実にむけて貢献されました。

同氏は、患者の視点に立った看護実践に取り組み、看護学生の実習指導やスタッフ及びリーダー育成、業務改善等にリーダーシップを発揮し、看護実践力の高いチーム作りに努められました。看護婦長に昇任してからは、精神神経科患者の社会復帰に向けての援助の推進や、看護職員が携わる薬品業務にかかる看護業務の改善、周手術期看護の充実に努め、生体肝移植患者への看護の確立に尽力されました。

この間、自ら積極的に学会や雑誌への論文投稿を行うとともに多数の看護研究を指導し、看護スタッフとともに、多数の学会等で発表、雑誌へ論文を投稿されています。

看護管理者としては、千葉大学看護学部附属看護実践研究指導センター、日本看護協会看護管理B研修を受講し、看護管理者としての質向上に努められました。

看護部委員会においては、臨床における質の高い看護師育成を担う教育委員会、人事・労務管理の体制整備を担う総務委員会、看護業務の改善・向上を担う業務委員会をそれぞれ3年間担当されました。

平成18年4月、看護管理者として卓越した能力が認められ副看護部長に昇任、業務を6年間、総務を1年間担当し、Supply Processing and Distributionの導入と医療材料の見直し、ベッドセンターの機能拡大、急性期看護補助体制加算取得、共通看護助手の業務内容構築と整備、看護業務・診療補助業務実態調査の実施、看護必要度研修・看護必要度指導者養成研修等に多大に尽力されました。平成18年の病院機能評価受審の際は病院全体を統率して取り組み、認定に貢献されました。

平成22年に北海道大学保健科学研究院との共働で「看護職キャリアシステムプラン開発・評価組織体制」が構築され、エキスパート看護実践能力向上プログラム開発・評価部門を立ち上げ、院内認定がん看護エキスパートナース養成プログラムの開発に尽力されました。

同氏は、社会的活動も精力的に行い、北海道看護協会においては、石狩北地区支部教育委員、看護師職能委員、抄録選考委員等を歴任、研修の講師等も積極的に担当し、継続教育に尽力されました。

以上のように、39年の永きにわたり看護管理・教育の充実に、患者サービスの質向上に尽くした功績は誠に顕著であると認められます。

略歴

生年月日	昭和27年6月22日
昭和49年4月	北海道大学医学部附属病院
昭和60年4月	北海道大学医学部附属病院看護部副看護婦長
平成2年4月	北海道大学医学部附属病院看護部看護婦長
平成15年10月	北海道大学医学部・歯学部附属病院看護部看護師長
平成18年4月	北海道大学病院看護部副看護部長
平成25年3月	北海道大学定年退職

(北海道大学病院)

西川公也農林水産大臣が本学を視察



挨拶する西川農林水産大臣

西川公也農林水産大臣が、農林水産省の委託研究プロジェクトで本学が開発した無人トラクターの視察を目的として、10月18日（土）に本学に来学されました。

同日午後には事務局に到着し、山口佳三総長、川端和重理事・副学長、村田直樹理事・事務局長及び丸谷知己農学研究院長等の出迎えを受けた西川大臣は、山口総長及び川端理事・副学長から、本学の概要及び研究活動につい

て、次いで丸谷農学研究院長及び野口伸農学研究院教授から、同研究院の概要及び農業用無人トラクターと人間との協調作業システムの実用化に向けた取組等、農業のIT・ロボット化について説明を受けました。

その後、北方生物圏フィールド科学センター第一農場に移動し、野口教授から無人トラクター及び無人コンバインの説明を受けるとともに、実際にこれらが無人で動く様子を視察されました。



山口総長からの概要説明



第一農場での野口教授による農業ロボットの説明

また、自らトラクターに乗車されるなど、西川大臣は限られた時間ながらも、積極的に農場での視察を行われるとともに、「この研究が人類の食料供給に貢献する時代が早く来てほしい」と、野口教授の研究成果に大いに理解を示されました。

（総務企画部総務課）

北海道大学交流デー（韓国 全北大学校，江陵原州大学校）を開催



江陵原州大学校での記念撮影

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、10月7日（火）に全北大学校で、10月16日（木）・17日（金）には江陵原州大学校において、北海道大学交流デーを開催しました。

全北大学校は、韓国南西部の全州市にある国立大学で、本学とは平成12年に大学間交流協定を締結しています。

開会式では、全北大学校の全光鎬国際交流所長による同大学校の紹介に引き続き、本学ソウルオフィスの金眞子職員より、本学の国際交流及び日本への留学等の説明がありました。

開会式に引き続き、臨床獣医外科学及び内科学研究の最前線に関する研究交流セミナーが行われ、両大学からの

研究発表及び質疑応答が行われました。開会式及び研究交流セミナーには、全北大学校から教職員、学生等80人、本学からは獣医学研究科を中心に教職員7人が参加しました。

江陵原州大学校は、韓国北東部の江陵市と原州市にキャンパスを持つ大学で、本学水産科学研究院と江陵原州大学校生命科学大学とは、平成19年に部局間交流協定を締結しています。

開会式では、江陵原州大学校の陳徳姫入学本部長による同大学校の紹介に引き続き、本学ソウルオフィスの金眞子職員より、本学の国際交流及び日本への留学等の説明がありました。

開会式の後は、3つの分科会に分かれて、研究交流セミナーが行われました。

第1分科会は、本学歯学研究科と江陵原州大学校歯科大学、第2分科会は、本学水産科学研究院と江陵原州大学校生命科学大学、第3分科会は、本学北方生物圏フィールド科学センター及び農学研究院と江陵原州大学校生命科学大学との間で行われ、本学の紹介や研究交流が行われました。これらの分科会には、本学を含め、全体で85人が参加しました。

今後もソウルオフィスでは、韓国における教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

（国際本部国際連携課）



全北大学校での開会式



全北大学校での研究交流セミナー



江陵原州大学校での研究交流セミナー

「北海道大学進学相談会」を名古屋と大阪で開催

本学単独主催の大学進学希望者向け「北海道大学進学相談会」を8月の東京開催に続いて、10月25日（土）に名古屋で、翌26日（日）に大阪で開催しました。

各会場では山口佳三総長、新田孝彦理事・副学長をはじめ、各学部やアドミッションセンターの教職員、在学生等、合わせて約70名が高校生等やその保護者への説明・相談に当たりました。

両会場とも当日は、全体説明の冒頭で山口総長による挨拶があり、引き続き新田理事・副学長が本学の魅力について説明を行いました。その後は、喜多村昇アドミッションセンター副センター長による総合入試についての説明、山口淳二新渡戸カレッジ副校長による新渡戸カレッジについての説明等を行いました。また、それと並行して、全12学部のブースや、学生支援相

談ブース等において個別相談対応を行い、多くの高校生・保護者等がブースを訪れていました。

来場者数は名古屋会場が310人、大阪会場が539人でした。8月23日（土）に開催した東京会場での来場者数は891人で、今年度は3会場合計で1,740人の来場となりました。

（アドミッションセンター）



名古屋会場の様子



大阪会場の様子



全体説明で挨拶する山口総長



本学の魅力について全体説明を行う新田理事・副学長



総合入試について説明する
喜多村アドミッションセンター副センター長



個別相談ブースで対応する山口新渡戸カレッジ副校長

イチョウ並木の一般開放を実施

11月2日（日），観光客や市民の皆様が安全に黄葉を觀賞できるように，北13条通りの車両通行を規制して「イチョウ並木の一般開放」を実施しました。

当日は小雨のち曇り空でしたが比較的暖かく，約3,700名の方々が訪れました。来場者は，イチョウで埋めつくされた黄色のじゅうたんをゆっくりと歩き，写真撮影するなど，秋の一日を満喫していました。

また，11月1日（土）・2日（日）には，北大元気プロジェクト採択団体が，イチョウ並木のライトアップなどの「北大金葉祭」を実施し，黄葉の觀賞を盛り上げました。

（総務企画部広報課）



北13条通りのイチョウ並木



イチョウのじゅうたんを楽しむ方々

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動をする事としています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報	16,384件	2,941,760,060円
基金累計額 (10月31日現在)	教職員の寄附率	33.6% (1,316件/3,921人)

10月のご寄附状況

法人等2社、個人70名の方々から13,963,631円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、総合博物館への銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。(五十音別・敬称略)

寄附者ご芳名 (法人等)

有限会社片桐仏壇店、北大電子1期生の会

寄附者ご芳名 (個人)

合川 正幸	浅野 賢二	渥美 達也	石渡 英夫	入澤 秀次	越善 讓	大城 武久	太田 政明
小川 泰弘	小内 透	小原 大和	埴山 雅秀	加賀美敏郎	金川 眞行	河本 充司	木村 峰明
越田みゆき	小菅 充	今 忠正	金 俊彦	斉藤 久	桜井 謙介	佐野 侑房	清水 智之
新海 洋	鈴木 正治	須田 孝徳	瀬名波栄潤	高橋 勝治	高橋 光彦	篁 ゆかり	田中 充哉
丹野千枝美	植田 泰子	土家 琢磨	寺澤 睦	當瀬 規嗣	兔内勇津流	富田 初	豊田 威信
日高健次郎	布野 榮一	三谷 千花	村井 茂	村本 陽一	山内 隆嗣	山崎 賢司	吉田 広志
渡辺 研二	綿谷 晴司						

銘板の掲示 (20万円以上のご寄附)

(法人等)

北大電子1期生の会

(個人)

渥美 達也, 越善 讓, 加賀美敏郎, 今 忠正, 渡辺 研二

感謝状の贈呈

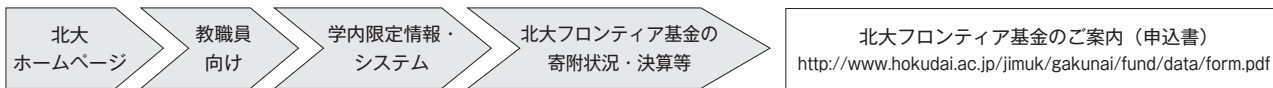


越善 譲様（平成26年11月17日）

ご寄附のお申し込み方法

① 給与からの引き落とし

申込書は、本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし、ご記入の上基金事務室に提出してください。



② 郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡します。

③ 現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は、本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか、各局事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので、ご利用ください。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

（総務企画部広報課）

平成26年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催



SD研修参加者での集合写真

10月15日（水）・16日（木）、百年記念会館を会場に、平成26年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」を開催しました。本研修は、高等教育推進機構、教育学研究院、総務企画部人事課及び学務部学務企画課の主催によるものです。

本年度は「大学職員のキャリア形成と意識改革」のテーマのもと、本学職員4名を含む、道内の国公立大学、高等専門学校から36名の受講生が参加しました。

1日目は、村田直樹理事・事務局長の挨拶で開会の後、公共政策学連携研究部の小磯修二特任教授から「地域に開かれた大学づくりと大学職員の役割」を主題とした講演があり、今の大学職員に求められる役割や職員像等の

話に、受講生は熱心に耳を傾けていました。

講演に引き続き、受講生が6名ずつのグループになりワークショップを開始しました。ワークショップでは、
（1）これまでの研修の体験を踏まえて、どのような研修が役に立ったか、その研修で自身がどのように変化したか、
（2）これから研修を企画・実施する場合、どのようなテーマや内容で実施するか、について意見交換が行われました。

ワークショップ後は、東京農業大学オホーツクキャンパス事務部長の小畑幹夫氏から「東京農業大学の職員による事務の点検と見直し」について、高等教育推進機構の木村 純特任教授、教育学研究院の光本 滋准教授から

「大学改革における技術系職員の役割」について報告が行われました。

1日目の終了後には情報交換会が行われ、普段交流することの少ない、他大学や他部局の受講生同士で親睦を深めていました。

2日目は、1日目に引き続きワークショップを行った後、ワークショップの各グループによる成果発表を行い、活発な意見交換が行われました。

事後のアンケートでは、国公立の職員が交流できたことは貴重な経験である、ワークショップの中で他大学での取り組みについて知識を得ることができ有意義だった等の感想が参加者から寄せられました。

（学務部学務企画課）



公共政策学連携研究部
小磯特任教授による講演



東京農業大学オホーツクキャンパス
小畑事務部長による報告



ワークショップの様子

平成26年度北海道大学鈴木章科学奨励賞—自然科学実験— 被表彰者の決定

この度、平成26年度北海道大学鈴木章科学奨励賞—自然科学実験—の第1学期被表彰者3名を決定しました。

本表彰制度は、鈴木 章名誉教授のノーベル化学賞受賞を記念して平成23年に創設され、今回を含め23名の学生に授与されています。賞の内容は、第1年次学生が履修する全学教育科目「自然科学実験」において、特に優秀な成績を修め、かつ本学の目指す全人

教育の理念にふさわしい学生を表彰するものです。被表彰者は各学期3名程度、毎年6名程度で、高等教育推進機構長から賞状の授与及び記念品が贈呈されます。

なお、授与式は第2学期の被表彰者と共に、平成27年3月に行います。

(学務部学生支援課)

平成26年度第1学期被表彰者

29組	橘 田 真 理
29組	小 池 優
20組	三 谷 拓 巳

平成26年度小島三司奨学金受給者の決定

この度、今年度から新たに創設された小島三司奨学金の受給者が決定しました。

本奨学金は、本学の元職員である故小島三司氏の遺志に基づき、アルツハイマー病を研究する大学院生に、奨学金を給付することにより、研究活動の充実を図り、医学の進歩に寄与することを目的として創設された返還義務の

ない給付型の奨学金です。

初年度となる今年は、生命科学院から3名の推薦があり、厳正な審査を行った結果、推薦のあった3名を本奨学金の受給者として決定しました。受給者には、1年間にわたり月額5万円が給付されます。

(学務部学生支援課)

平成26年度受給者

生命科学院	金 子 窓 香
	木 村 彩 乃
	矢 原 真 郎

平成26年度北海道大学フロンティア奨学金受給者の決定

この度、北海道大学フロンティア奨学金の平成26年度受給者が決定しました。

本奨学金は、本学が掲げる「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」の4つの基本理念のもとに、将来、社会の各分野においてリーダーとして活躍できる人材の育成を目的として創設され

た、返還義務のない給付型の奨学金で、企業、個人、同窓生及び教職員の皆様方からご支援をいただいております。「フロンティア基金」により運営されています。

なお、給付対象が新渡戸カレッジ奨学金と重複しないよう、今年度は学部3年次以上及び大学院生を給付対象としました。

今年度は、各学部・研究科等から推薦のあった40名の学生のうち、選考委員による厳正な審査の結果、学部生10名、大学院生15名を受給者として決定しました。受給者には1年間にわたり、月額5万円が給付されます。

(学務部学生支援課)

「北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）」、 「日本語・日本文化研修コース（日研コース）」及び 「日本語研修コース」入学式を挙

本年10月入学の「北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）」、「日本語・日本文化研修コース（日研コース）」及び「日本語研修コース」の入学式を、10月2日（木）午前9時30分よりクラーク会館において行いました。

HUSTEPは、本学の協定校に在籍する留学生に対して原則として英語による授業を実施するプログラム、日研コースは、母国で日本語・日本文化に関する教育を行う学部在籍している留学生に対して日本語、日本文化、日本事情に関する教育を行う1年間の研修コース、そして日本語研修コースは、大学院進学前の大使館推薦の国費留学生、工学部進学前の日韓理工系プログラムの留学生、及び平成27年4月から新たに創設する現代日本学プログラム課程進学前の留学生に対して6か

月間の日本語予備教育を行う研修コースです。

今回入学したのは、HUSTEPに22か国73名、日研コースに19か国50名、日本語研修コースに13か国25名の、計34か国148名です。

入学式では、最初に来賓の方々や教員の紹介が行われ、その後、留学生一人ひとりの名前が読み上げられました。学生は、一人ひとり起立し、来賓の方々や教員、学生に向かって一礼しました。笑顔で挨拶する学生が多く、緊張の中にも、お互いに親しみを感じる機会になったようです。その後、山口佳三総長からの祝辞、留学生代表スピーチが続きました。留学生代表スピーチでは、代表留学生が留学への意気込みや抱負について語りました。

引き続き午前10時45分より、クラーク

会館にて外国人留学生のためのオリエンテーションを行いました。大学での事務手続き等の説明のほか、札幌北警察署や札幌国際プラザによる交通安全や札幌での生活についての案内、在学生による大学生活に関する簡単な発表などがあり、学生たちは熱心に聞き入っていました。

（国際本部国際教務課）



山口総長による祝辞



短期留学プログラム（HUSTEP）留学生



日本語・日本文化研修コース（日研コース）留学生



日本語研修コース（国費留学生・日韓理工系プログラム）留学生



日本語研修コース（現代日本学プログラム）留学生

北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙行



全員での記念撮影



山口総長から給付証書授与

北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を、10月7日（火）に国際本部大会議室で行いました。

北海道大学総長奨励金は、留学生の質的向上及び受入れの拡充を図ることを目的として平成18年度に開始された制度です。修士課程、博士後期課程（医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科及び生命科学院臨床薬学専攻については博士課程）、博士課程教育リーディングプログラムに選抜された修士課程と博士後期課程（獣医学研究科については博士課程）に入学する私費外国人留学生を対象としており、アドミッションポリシー、研究分野、研究の課題等を明確にしたプログラムに基づき受入れを行っています。

北海道大学私費外国人留学生特待プ

ログラムは、国際的な貢献に寄与する人材を育成することを目的とし、平成20年度に開始された制度です。博士後期課程（医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科及び生命科学院臨床薬学専攻については博士課程）、博士課程教育リーディングプログラムに選抜された修士課程と博士後期課程（獣医学研究科については博士課程）に入学する私費外国人留学生を対象としており、アドミッションポリシー、研究分野、研究の課題等を明確にしたプログラムに基づき受入れを行っています。

授与式には山口佳三総長、上田一郎国際本部長をはじめ、村田直樹理事・

事務局長、各研究科長、指導教員など関係者が出席し、北海道大学総長奨励金被給付留学生には給付証書、北海道大学私費外国人留学生特待プログラムに採用された留学生には採用証書が授与されました。山口総長より一人ひとりに証書が手渡された後、祝辞が述べられました。あとに続く留学生の目標となり、これからの地球の将来を担うような成果を出していただくことを期待しているという山口総長の言葉を、留学生は真剣なまなざしで聞いていました。

（国際本部国際教務課）

北大インターナショナルハウスで消防避難訓練を実施

国際本部は、10月18日（土）、留学生の居住する北大インターナショナルハウス北8条東、北大インターナショナルハウス北8条及び北大インターナショナルハウス北23条の3か所において消防避難訓練を実施しました。

午前の訓練は北大インターナショナルハウス北8条東で実施され、9階建ての3階居室から出火の想定で、屋外への避難と消火器の操作方法の実習が行われました。

午後は、北大インターナショナルハウス北8条では5号棟3階から出火の想定、北大インターナショナルハウス

北23条では2号棟4階から出火の想定で、それぞれ訓練と実習が行われました。

避難誘導にあたっては英語を交えた館内放送を行い、屋外に出た後、点呼を実施しました。留学生からは、初めての日本での避難訓練とあって、消防設備や消火器についての質問が出ていました。札幌市消防局北消防署幌北出張所から立ち会っていただいた署員による講話などにより、参加者一同、火災発生時の行動を確認し、一連の訓練を終了しました。

（国際本部国際支援課）



消火器の操作実習



消防署員による講話

国際ワークショップ “New Frontiers in Biomineral Formation Research: From Pre-nucleation Clusters to the Final Crystals” を開催

創成研究機構では、10月7日（火）～9日（木）の日程で、川野 潤テニユアトラック助教主催の国際ワークショップ “New Frontiers in Biomineral Formation Research: From Pre-nucleation Clusters to the Final Crystals” を開催しました。本ワークショップは生体鉱物（バイオミネラル）の研究分野において国内外で活躍する若手研究者をお招きして、バイオミネラルの形成や成長機構を議論することを目的とし、テニユアトラック普及・定着事業（<http://tenure-track.cris.hokudai.ac.jp>）の若手研究者支援の一環として行いました。

バイオミネラルの研究は物質科学と生命科学、地球科学等の広範な学際分野にまたがるものであるため、その形成過程に関しても様々な立場からの研究が行われています。学内外から本ワークショップにお越しいただいた45名の参加者の専門分野は、結晶成長学、材料化学、計算化学、鉱物学、地球科学、溶液物理学、表面科学、海洋



集合写真

生物学など多岐にわたり、それぞれが専門とする立場から、活発な議論が交わされました。さらに、この会議で知り合った参加者同士で早速共同研究がスタートするなど、異分野交流の場としても、大変充実したものとなりました。

なお、会議の詳細は、<http://www.kawano-lab.com/workshop2014>にてご覧いただけます。

（創成研究機構）



ワークショップの様子

■ 部局ニュース

文学研究科「書香の森」にて「プラス1ピースの読書会」を開催

文学研究科・文学部のエントランスホールに「書香の森」と名付けられた空間があります。ここでは、文学研究科の教員が執筆した図書を展示するとともに、図書や芸術に関連する企画展示を行っており、文学研究科の広く多彩な研究を紹介する学術交流と知の発信の場となっています。

この度、文学研究科では、書香の森にて「プラス1^{いち}ピースの読書会」という企画を始めました。この読書会は、教員が自著の内容を解説するとともに、執筆に関するエピソードや研究上の位置づけ、刊行後の反響などを語るイベントです。インターネットや出版物で公開された書評・作品解説とは、ひと味違う情報を発信することを目指しています。毎回、作品にまつわるエピソードをプラス1ピースとして取り上げ、著者自身が語る、ほかでは得られない情報を一片のいりどりとして添える読書会です。

第1回読書会は、10月27日（月）に開催し、文学研究科映像・表現文化論



執筆に関するエピソードや現代詩の特徴を語る阿部准教授

講座の阿部嘉昭准教授の『換喩詩学』を取り上げました。当日は、学外からの一般参加者を含め、多くの方にご来場いただきました。現代詩の潮流についての解説とともに、詩の味わい方、詩とツイッターとの関係など、詩に関する話題が盛りだくさんの読書会となりました。

この「プラス1ピースの読書会」は、今後も続けて開催していく予定です。開催予定については、文学研究科ウェブサイトをご覧ください。

◆ <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

（文学研究科・文学部）

歯学研究科で市民公開特別講座 「食事はどうして楽しいの？」を開催

歯学研究科では、10月19日（日）午前9時30時から午後1時まで歯学部講堂において、市民公開特別講座「食事はどうして楽しいの？」を開催しました。

同講座では、食事を楽しくする要素について、5名の講師が講演を行いました。英語の講演もあり、同時通訳の機器を使用して日英同時通訳で行いました。

はじめに、北海道大学病院の兼平孝講師から「咀嚼の重要性」について講演がありました。次にデンマークオーフス大学のPeter Svensson教授から「Taste and function」について、北海道歯科衛生士会の原田晴子理事から「唾液の役割」について、スウェーデ

ンカロリンスカ研究所のMats Trulsson教授から「The enjoyment of oral mechanosensation」についての講演がありました。最後に歯学研究科の上田康夫講師から「CAD/CAM」についての講演がありました。

本講座は道民カレッジ連携講座であったため、一般市民の方の参加も多く、48名の方が参加されました。

本研究科では、今後も研究成果の地域社会への還元の一環として、道民カレッジ等に参加し、市民公開特別講座を企画・実施する予定です。

（歯学研究科・歯学部）



Svensson教授の講演



兼平講師の講演

経済学部で第1回プレゼン大会を開催

10月18日（土）に経済学部主催「第1回プレゼン大会」を開催しました。この大会は昨年度まで開催してきた「プレゼン・ディベート大会」をリニューアルしたものです。総勢6チームが参加し、大会テーマ「北大を知ってもらう（自分も知る）には？」に沿って、知的で独創的な発表が行われました。また、各チームの発表に対して、参加学生からの確かな質問が多数なされました。結果、2時間超の大会が短く感じられるほど、熱のこもった発表と白熱した議論が展開されました。

参加チームからは「予想以上にテーマの解釈が難しい」という声もありましたが、本学の中にある資源をどう見つけ出すか、その過程で学生たちが本学への理解を深めていったか、その資源をどのように外部に伝えるかという点について、各チームが独自の視点から考察を展開していました。各チームの発表や質問が予想以上に甲乙付け難

いレベルであったため、審査も熱のこもったものとなりました。最終的には以下の3チームが表彰対象となりました。

優勝チーム「チームオモティー（橋本ゼミ）」は、「大志これくしょん」という北大生の取組みを外部にプロモーションする方法を提案しました。プレゼンテーションは聴衆を惹きつける話し方等に多くの工夫がなされていました。準優勝チーム「チーム稲庭（高井ゼミ）」は、本学内の豊富な「緑」資源を一般市民に開放するという地域社会への貢献の仕方を示しました。同チームは4年生で経験に裏打ちされた手堅いプレゼンテーションを行いました。3位チーム「禁酒ラムチャンズ（吉見ゼミ）」は、本学の伝統である「ジンパ」を利用し、若者向けに本学を周知するイベントを考案しました。

初開催の大会にも関わらず、参加者や来場者は総勢で50人ほどになりました。来場者の皆さんが作り出してくれ

たアットホームな雰囲気のおかげで盛況のうちに大会を終えることができました。

（経済学研究科・経済学部）



プレゼンの様子



優勝チームへの表彰

経済学研究科・経済学部で「学部生、研究生のための大学院ガイダンス」を開催

経済学研究科・経済学部では、10月30日（木）に、「学部生、研究生のための大学院ガイダンス」を開催しました。本研究科教員2名から、経済学研究科（現代経済経営専攻・会計情報専攻）の特色や入学試験制度などについての説明が行われました。その後、現役大学院生4名から、大学院の魅力や院生生活の紹介が行われ、最後に質疑応答という順でガイダンスが進められ

ました。本学経済学部所属の学生や卒業生、研究生など、計7名の出席者があり、熱心に内容に耳を傾けていました。

本ガイダンスは、会社説明会などの開始時期が学部3年生の12月となったことを鑑み、学部生の就職活動スタート前に実施するようにし、学部卒業後の進路が就職だけではなく、大学院進学も1つの選択肢であることを知ってもらうことを目的としています。

大学院生と学部生が同一の環境で研究活動を行う機会のある理系の学生と比較すると、文系学部生の多くにとって大学院は必ずしも身近な存在ではないことから、大学院がどのようなところなのかについての具体的なイメージが持ちにくい状況にあります。そこで、本ガイダンスでは、経済学研究科の特徴や、大学院生の研究活動や生活について、教員と大学院生の双方の視点から情報提供を行いました。出席者からは、就学上の疑問点、受験にどのように取り組むのかなどについて、活発な質問が出され、大学院への関心の高さをうかがうことができ、有意義な場となったと考えています。

学生が、卒業後の進路をより多面的に考える機会が得られるよう、経済学研究科・経済学部では今後もこうしたガイダンスを定期的で開催していく予定です。

（経済学研究科・経済学部）



熱心に耳を傾ける参加者



大学院生による「大学院への道」紹介

経済学研究科・経済学部で外国人留学生懇親会を開催



集合写真

経済学研究科・経済学部では10月30日（木）午後6時から、経済学研究科研究棟3階会議室において、平成26年度外国人留学生懇親会を開催しました。

本研究科・学部では、外国人留学生が年々増加しており、特に修士課程（現代経済経営専攻）においては、在籍する学生の半数を占めています。このような状況の下、留学生、日本人学

生、教職員が相互に理解と親睦を深め、交流を通して生まれた絆が留学生の生活適応や日本人学生の国際経験に資することを目的とし、本懇親会を開催しています。

7回目の開催となる今回は、司会進行とゲームの企画を修士課程2年の日本人学生、修士課程1年の中国からの留学生、学部3・4年の日本人学生の4名が務め、本研究科・学部等に在籍



親睦を深める参加者たち

する留学生や、そのチューター・サポーター、そして国際交流に関心のある日本人学生と関係教職員など約90名が参加しました。参加者は軽食を取りながら、歓談やゲームへの参加を通して互いに親交を深め、盛況のうちに閉会しました。

（経済学研究科・経済学部）

生命科学学院が「第2回生命科学国際シンポジウム」を開催



集合写真

10月23日（木）、学術交流会館を会場に“The 2nd International Life Science Symposium（第2回生命科学国際シンポジウム）”を開催しました。本シンポジウムは、国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムとして生命科学学院が実施する「次世代の生命科学グローバルリーダー養成プログラム International Graduate Program, Training Program for Global Leaders in Life Science（IGP-GLLS）」が主催する国際シンポジウムで、生命科学学院博士後期課程の学生が企画・運営を行いました。

本年度は、「国際交流・若手交流」

のテーマのもと、留学生48名を含む112名が参加し、口頭及びポスター発表を通して、活発な質疑応答が行われました。

招待講演では、千歳科学技術大学のオラフ・カートハウス教授と本学人材育成本部（I-HoP）の飯田良親特任教授をお招きしました。国際コミュニケーションの秘訣や留学生のキャリア形成についてご講演いただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

シンポジウム終了後は、本年度10月入学のIGP-GLLS留学生・日本人学生の歓迎会を兼ねた懇親会を行いました。参加者は国境を越えて、親睦を深

め合いました。

本シンポジウムは、留学生を始め日本人学生にとっても、国際交流を実践する良い機会になり、将来のますますの発展を手助けするものになったと思います。

開催にあたりご指導・ご協力をいただいた先生方、ご支援をいただいた事務担当者の方々、準備・運営にご協力いただいた留学生・学生の方々に深くお礼申し上げます。

（生命科学学院・先端生命科学研究院）



ポスター発表の様子



懇親会の様子

函館キャンパスで「秋のキャンパス一斉清掃」を実施

11月5日（水）に、函館キャンパスで秋の構内清掃作業を実施しました。今回のキャンパス一斉清掃には、学生及び教職員合わせて約100名と、現在進行している管理研究棟改修工事の施工業者の皆様にもボランティアで参加いただきました。

今回の清掃についても昨年と同様、函館市の主催する「秋のクリーン作戦」に合わせて実施したため、ゴミ袋の提供及びごみの処分業務について函館市よりご協力をいただき、予定通り1時間程度で作業を終えることができました。

「秋のキャンパス一斉清掃」は今年で7年目を迎え、積極的に協力する学生が多く見受けられ、環境美化の意識が向上しているとともに、年々ゴミが少なくなってきたことを実感できました。

なお、来年5月には「春のキャンパス一斉清掃」を実施する予定です。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



管理研究棟入口でゴミ袋を配布



清掃を行う学生と教員



構内沿道を清掃する学生と教員



東屋周りを清掃する学生

北海道大学病院極東医療ミッションとしてロシア極東3地域を訪問

北海道大学病院は、10月19日（日）～25日（土）の日程で、ロシア極東地域の医療機関等との連携促進を目的に、本院国際医療部、経済産業省北海道経済産業局、北海道庁、北海道銀行などから組織された代表団として、ロシア極東地域のウラジオストク、ハバロフスク及びユジノサハリンスクを訪問しました。

本ミッションでは、ロシアの医療施設の視察や現地医師との意見交換を行い、寶金清博病院長から陽子線治療センターの紹介、豊嶋崇徳教授から日本の医療保険制度や本院の先進的な医療、国際化構想の今後の展開などについて紹介がありました。

また、ハバロフスク地方腫瘍セン

ター、極東連邦大学メディカルセンターでは交流協定締結に向けた議事録への署名を、国立極東総合医科大学では国際交流協定が締結され、医師や学生、研究者等の国際的な学术交流を進めていくことで双方が合意しました。

ロシアでは医療機器のインフラ整備は急速に進んでいますが、それを扱う技術者の人材育成が追いついていないのが現状です。今後は、人材交流を進め、将来的には、ロシア極東地域で治療が難しい患者を北海道大学病院に受け入れる体制を整える予定です。

（北海道大学病院）



ハバロフスク地方保健省での意見交換



国立極東総合医科大学との国際交流協定締結

北海道大学病院で第11回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップを開催



参加者全員での集合写真

北海道大学病院では、卒後臨床研修センターの主催で、10月11日（土）・12日（日）に第11回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ（指導医講習会）を開催しました。道内各施設から39名の医師が参加しました。

新医師臨床研修制度が創設された平成16年度以降、研修医を指導する医師の役割はますます重要になっており、本院では毎年、北海道内の教育病院における指導医の資質向上と、適切な指導体制の確立を目的として、ワークショップを開催しています。

今年度は、講師として6名の学内教員及び学外からは宮田靖志先生（独立

行政法人国立病院機構 名古屋医療センター）、川口篤也先生（公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院）、岸田直樹先生（一般社団法人 Sapporo Medical Academy）と、タスクフォース（世話人）として7名の学内教員にご協力いただきました。

このワークショップは全12テーマのセッションに分かれており、各セッションでは「指導医・研修医のメンタルヘルス」「適切な研修医評価とそれに基づくコーチング」等の講義の後に、グループ討論・グループワーク・ロールプレイ・全体発表等を通して、参加者同士が互いに学び合い、考えを深めま

した。

全日程終了後、平野 聡卒後臨床研修センター長より、参加者を代表して足寄町国民健康保険病院の村上英之先生へ修了証が手渡されました。

計16時間にわたる内容の濃いワークショップを修了した参加者からは「普段意識していなかった指導方法・評価について見つめ直す機会となった」「従来考えていた指導・教育のイメージとは異なる考え方や手法の必要性を学ぶことができた」等の感想が寄せられ、実りある講習会となりました。

（北海道大学病院）



真剣な表情でグループワークを行う参加者



グループ発表

消防・防災訓練等の実施

医学研究科・医学部，遺伝子病制御研究所，アイソトープ総合センター合同

医学研究科・医学部，遺伝子病制御研究所，アイソトープ総合センター合同で，10月7日（火）午後2時25分，医学研究科附属動物実験施設1階検査室から出火したとの想定で，消防訓練を実施しました。

出火時の初動体制を確立するために，各行動の中心となる自衛消防班が直ちに活動し，出火場所に対応して各職務分担の任務（通報連絡・避難誘導・消火・防護措置等）を行い，被害を最小限に食い止める訓練を実施しました。

終わりに，笠原正典研究科長から

日頃の防火に対する心構えについて話があり，参加した約120名の教職員・学生は訓練の重要性と防災意識を改めて見直しました。

総合訓練に続いて，消火器を使った消火訓練を防災設備業者指導のもと実

施し，消火器の使用方法について理解を深め，一連の消防訓練を無事に終えることができました。

（医学研究科・医学部，遺伝子病制御研究所，アイソトープ総合センター）



初期消火活動の様子



消火訓練の様子

歯学研究科

歯学研究科では10月29日（水）に防災訓練を実施しました。

今回の訓練は，A棟2階 研究科長室 兼応接室から出火したとの想定で，自衛消防隊長である横山敦郎歯学研究科長の指揮により，通報連絡係，避難誘

導係，消火係，救護係，防護措置係の各担当に分かれ，現場の確認，消防署への通報，非常放送，避難者誘導，消火活動等の訓練を実施し，学生・職員（大学病院職員を含む）及び工事業者等約180名が参加しました。

訓練終了後，横山研究科長から「今回の訓練は順調に実施できた。災害時にはこの訓練を思い出して行動してほしい」との講評がありました。

（歯学研究科・歯学部）



消火器操作訓練の様子



横山研究科長からの講評

獣医学研究科

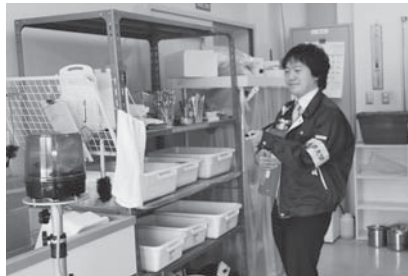
獣医学研究科では、10月29日（水）に防火訓練を実施しました。

当日は低気圧の影響もあり、例年より低い気温の中での訓練となりましたが、世界展開力強化事業にて受入中のタイ・カセサート大学の学生10名も加わり、約150名の教職員・学生が参加しました。

訓練は出火時における初動体制の確立を目的として行われました。午前11時30分に本館3階の解剖学第一実験室から出火したとの想定で始まり、自衛消防隊各班ごとの訓練計画に基づいた職務分担に従い、通報、初期消火、避難誘導を行い、被害を最小限に食い止める訓練を実施しました。

総合訓練に引き続き、消火器を使った放水による消火訓練及び4階からの救助袋による降下訓練を防災設備業者指導の下で実施し、使用方法に理解を深め、一連の防火訓練を行うことができました。

（獣医学研究科・獣医学部）



初期消火の様子



消火器を使った訓練



救助袋を使った降下訓練

理学研究院

理学研究院では、10月31日（金）に札幌市北消防署の立ち会いのもと、消防訓練を実施しました。

当日は、穏やかな天候の中、12時10分に5号館2階2-10室から出火したとの想定で、寺尾宏明理学研究院長を隊長とする事務部で構成された自衛消防隊による通報連絡、非常放送、初期消火、避難誘導、救護等の総合的な訓練を、教職員・学生約300名が参加し実施しました。

訓練終了後には、寺尾研究院長から訓練参加者及び協力者への慰労の辞と、日頃からの防災に対する意識を啓蒙する挨拶があり、続いて北消防署予防課の職員の方から、訓練は概ね良好であったとの講評をいただいたほか、今後も常に防災意識を持っていただきたいとの要請がありました。

（理学院・理学研究院・理学部）



自衛消防隊本部（防災センター内）の様子



寺尾研究院長（自衛消防隊長）の挨拶



避難場所の様子



発見者による初期消火活動

工学系部局（工学院・工学研究院・工学部、情報科学研究科、量子集積エレクトロニクス研究センター）

工学系部局では、10月17日（金）に自衛消防訓練を実施しました。

工学系部局は、国際本部と合同で自衛消防組織を構成しており、今回は自衛消防組織の動きを体験的に確認することを目的に、情報研究棟からの出火を想定して実施しました。

当日は朝から強い雨に見舞われたため、学生の避難訓練を行わず、自衛消防隊と若干名の協力学生のみでの訓練としました。

午前11時30分に情報研究棟7階エレ

ベーターホールから出火したとの想定で、火災報知器発報を受け、出火場所の捜索・確認から、自衛消防組織への連絡、札幌市北消防署への訓練通報、避難誘導、初期消火、防護措置、怪我人の救護、重要物品の搬出という一連の訓練内容で実施しました。

訓練終了後、札幌市北消防署幌北出張所の担当者から、「自衛消防隊の活動は非常に重要であるため、このような訓練を大いに活かしていただきたい」との講評がありました。また、自衛消防本

部長代行（副本部長）である宮永喜一情報科学研究科長からは、「震災等の大きな災害が起こった場合は、多くの箇所で同時に火災が発生することが考えられ、札幌市北消防署の皆さんとの共同対応が難しくなることもあるので、日頃から実効性の高い消防力をつけていきたい」との挨拶がありました。

（工学院・工学研究院・工学部、情報科学研究科）



自衛消防隊通報連絡係からの初期報告を聞き、指示を発する構野秀樹工学系事務部長（自衛消防隊長）（左）



協力して初期消火を行う発見者（学生）と自衛消防隊消火係



電話で中間報告を受ける自衛消防隊長（右）とその状況を確認する宮永情報科学研究科長（左）

薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙行

薬学研究院・薬学部では、11月7日（金）、本研究院並びに本学部の教育と研究のために供された実験動物の慰霊祭が執り行われ、教員、学生など100名を超える関係者が参列しました。

慰霊祭は、動物実験委員会委員長の鈴木利治教授より実験に供された動物に追悼の辞が述べられ、次いで、参列者全員による黙祷及び献花が行われました。

最後に、鈴木委員長による挨拶があり、生命科学及び薬学の教育や研究の発展のために多大な寄与を遂げた動物への諸霊の供養がしめやかに執り行われました。

（薬学研究院・薬学部）



「追悼の辞」を述べる鈴木委員長と参列者



献花する学生

北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭を挙行

北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場では、10月24日（金）午後1時から、アグリフードセンター傍に位置する畜魂碑前において、教育・研究に供された家畜の供養のために畜魂祭を執り行いました。さわやかな秋晴れの下、山田敏彦農場長をはじめとする本センターの教職員、本センターを利用する農学部等の教職員・学生など約50名の関係者の参列がありました。

本センター生物生産研究農場では、自給飼料を主体とする物質循環型の持続的な家畜生産を継続して行っており、様々な教育・研究に用いられています。また、家畜用飼料作物の生産から、それらを利用した家畜生産を行い、得られた生産物を加工して製品を製造するという一連の流れを教育の中心としています。これらの教育・研究活動に対して、多大な貢献をした家畜・家禽に感謝し、その御霊を供養するために毎年畜魂祭を行っています。

はじめに山田農場長の挨拶の後、参列者全員で畜魂碑に拝礼しました。その後、中小家畜生産研究施設、酪農生

産研究施設、畜産製造施設より、家畜・家禽の飼養頭数や利用実績等の報告がありました。

最後に山田農場長から、「北海道では輸入飼料高騰により経営が悪化し、廃業に追い込まれる酪農家が増えているのが大きな社会問題となるなど畜産を取り巻く情勢には厳しいものがあり、早急に、足腰が強い畜産の生産技

術体系の確立が求められている。その中で、北大農場では、自給飼料生産を基盤とした酪農をはじめとする畜産の生産システムの実証を展開中であり、また、環境に配慮した持続的な家畜生産に向けたシステム構築を使命と考えている」ことなどが述べられました。

（北方生物圏フィールド科学センター）



利用実績等の報告をする職員



山田農場長の話聞く参列者



畜魂祭に御神酒を捧げる山田農場長

低温科学研究所が国立大学附置研究所・センター長会議 第1部会シンポジウム及び部会会議を開催

10月9日（木）・10日（金）、低温科学研究所が当番機関となり、京王プラザホテル札幌において「国立大学附置研究所・センター長会議第1部会シンポジウム及び部会会議」を開催しました。

国立大学附置研究所・センター長会議は、全国の国立大学法人に設置された附置研究所及び研究センターの所長・センター長が相互に緊密な連絡と協力をを行うことにより、我が国の学術研究の振興を図ることを目的とした組織で、3つの部会によって構成されており、そのうち第1部会は47の理工系

の研究所・センターが所属しています。

9日（木）に開催した今年度のシンポジウムは、「激変する地球環境の現状と未来像」と題して、地球システムについての自然科学の研究に焦点を当てました。海洋・気象・地震と私達に身近な自然環境について、低温科学研究所の大島慶一郎教授、名古屋大学地球水循環研究センターの坪木和久教授、東京大学地震研究所の小原一成教授による講演が行われ、各講演後には参加者から多くの質問が出されるなど、盛況のうちに終了しました。

シンポジウム終了後、文部科学省研

究振興局学術機関課の岡本和久課長補佐及び北山亜紗美係員出席のもと部会会議を開催しました。岡本課長補佐から国立大学の機能強化に向けての考え方、共同利用・共同研究拠点の次期認定方針等について情報提供があり、その後活発な質疑応答が行われました。

翌日10日（金）に引き続き開催した部会会議では、今後の附置研究所・センター長会議の活動方針等についての審議が行われ、2日間の日程を終了しました。

（低温科学研究所）

シンポジウム講演演題

- ・大島慶一郎（北海道大学低温科学研究所 教授）
「海水がつくる海洋大循環とその変動」
- ・坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター 教授）
「現在及び将来気候における台風の最大強度の推定」
- ・小原一成（東京大学地震研究所 教授）
「スロー地震の発見と巨大地震発生予測に対する貢献」



歓迎挨拶を行う川端和重理事・副学長



シンポジウム講演風景

附属図書館講演会 「Hokkaido University：キャンパスの国際化」を開催

10月17日（金）、附属図書館大会議室において、附属図書館主催、国際本部協力による講演会を開催し、学内外から57名の参加がありました。今回の講演会では、「Hokkaido University：キャンパスの国際化」と題して、国際本部長である上田一郎理事・副学長が講演を行いました。

はじめに、新田孝彦附属図書館長から、本学が「スーパーグローバル大学創成支援」タイプA（トップ型）に採択されたこと、教育研究のグローバル化は、これからの大学にとって必須の課題であることから、図書館は大学の教育研究を支えるというミッションに基づき、本日の講演を各自の職務に生かしてほしいとの挨拶がありました。

上田理事・副学長の講演では、今、

本学は「世界の課題解決を目指して活躍できる人材の育成」を目標に掲げて、キャンパスの国際化という課題に取り組んでいること、その実現のためには、教育改革、システム改革に加えて、研究力強化（海外研究ユニット誘致、国際共同研究の事務局運営、研究支援体制の整備等）や産学連携強化が必要であることなど、全学改革プランの詳しい説明がありました。また、優秀な留学生の獲得も必要であり、そのためには、世界大学ランキングで上位になる必要があるという説明がありました。

休憩をはさんだ質疑応答では、活発な意見交換が行われました。部局の国際交流担当職員からは、「国際交流は良い人間関係を築くことが大事。留学

生と日本人学生には、もっと交流の場が必要である」という意見があり、上田理事・副学長から「われわれも交流の場の作り方を勉強しなければならないと考えている」旨のコメントがあり、図書館からは「交流の場の一つとして図書館の活用を考えてほしい」という提案がありました。

参加者アンケートには、「本学の国際化についての全体像を伺うことができた」「タイムリーなテーマで参考になった」「世界的に見た北大の状況が分かり、勉強になった」等の意見があり、職員の啓発と連携に寄与する貴重な機会となりました。

（附属図書館）



講演する上田理事・副学長



講師と熱心に聴き入る参加者



質疑応答風景

総合博物館で「2014年度前期ミュージアムマイスター」認定式を挙行

総合博物館では、平成21年度より「ミュージアムマイスター」認定コースを設定しています。本コースでは、本学が目指す全人教育を全学的に展開するため、専門の学部教育に至る縦割り型の教育システムに、全人教育というキーワードで横串を入れた教育プログラムを展開しています。「導入科目」「ステップアップ科目」「社会体験型科目」の3つの段階から成る教育システムを設定し、課題探究能力、協調性と自主性を備え、問題解決能力、コミュニケーション能力、マネジメント能力を持ち、自己評価の視点を身に付けた学生を育て、広い視野と、社会貢献とボランティア精神の涵養を図ることを目指しています。

ミュージアムマイスターの認定要件は、導入・ステップアップ・社会体験型科目を各4クレジット、合計12クレジット以上取得し、基準GPAによる基礎学力（平均点以上）を加味しています。さらに最終面談でもコミュニケーション能力を審査するため、博物館教員による面談以外に、マイスター候補生によるプレゼンテーションを行い、高いコミュニケーション能力を有する学生をマイスターとして認定しています。

秋深まる中、総合博物館で新たなミュージアムマイスターが誕生しました。24人目のミュージアムマイスターとして認定されたのは、水産学部2年の山内彩加林さんです。10月29日（水）に認定式を執り行い、博物館教職員やボランティアらが見守る中、津曲敏郎館長から認定証が授与されました。山内さんは、「高校までは人前に立って活動することが苦手で、そうした経験もありませんでしたが、ミュージアムマイスター認定コースのプログラムを通してたくさんの人々と関わる機会を持ち、自分の新しい一面を開拓できました。これからも頑張っていきたいです」と顔をほころばせました。式に出席したボランティアの濱市宗一さんと森 淑子さんは「これからの活躍も楽しみです」、同コースや北大ミュージアムクラブMouseionで共に活動している水産学部2年の岩崎峻さんは「同じクラブ、同じ学年の人間としても、山内さんの認定はとても喜ばしく誇りに思います」とコメントしました。山内さんは12月に開催される鈴木 章名誉教授と子ども達との実験交流イベント「サイエンスパーク in 北海道大学」で司会・進行を務め、今後、全学的なイベントなどでの活躍が

期待されます。

「ミュージアムマイスター認定コース」への登録は随時受け付けております。詳細は総合博物館Webサイトをご覧ください。

◆ <http://www.museum.hokudai.ac.jp/education/index.html>

（総合博物館）



認定式後の記念撮影

大島正健家関係資料を大学文書館で受贈

10月31日（金）、大学文書館では、札幌農学校第1期生大島正健のご令孫である大島智夫氏（横浜市立大学名誉教授）より、大島家ゆかりの資料1箱をご寄贈いただきました。

大島正健（1859-1938年）は、1876（明治9）年に第1期生として札幌農学校に入学し、W.S.クラークに直接教えを受けました。卒業後は、農学校予科（本科に進学するための準備教育課程）の教員として主に英語を教授し、農学校生に大きな感化を与えました。

1893（明治26）年に農学校を辞した後、同志社普通学校教授、私立奈良中学校長、山梨県立甲府中学校長、宮崎県立宮崎中学校長などを歴任し、青年の教育に尽力しました。

また、札幌農学校在学中、W.S.クラークの影響で熱心なクリスチャンとなり、札幌バンド（近代日本のプロテスタント発祥の1つ）や札幌独立基督教会の創設に中心的な役割を担いました。講演や執筆活動で恩師W.S.クラークについて取り上げ、晩年に『クラーク先生とその弟子達』を刊行するなど、クラークの人物や功績を

後世に伝える上で大きな役割を果たしました。

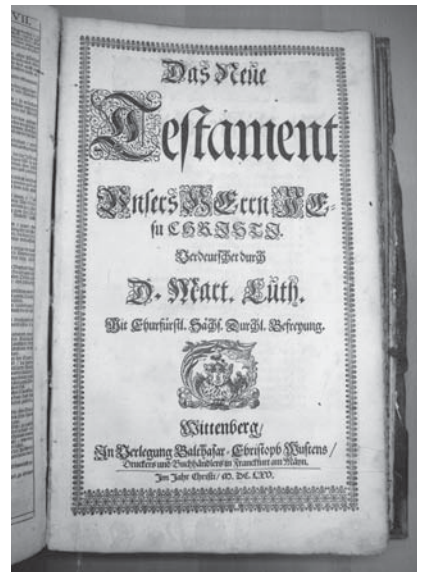
この度受贈した資料は、（1）書簡19点、（2）手稿類5点、（3）ドイツ語訳聖書1点などです。（1）には、1876（明治9）年11月26日、大島正健が兄の正義に宛てた書簡が含まれています。開校まもない札幌農学校での学校生活の様子、生徒の目から見たクラーク・黒田清隆像などが記されており、大変重要な記録です。

また、（2）は、北海道における女性作家のパイオニア大島千代（大島正健夫人）の雑記帳や、動物学者大島正満（大島正健長男）の中学生時代の日記帳、「鼠騒動」や「阿寒の王者」の原稿などです。

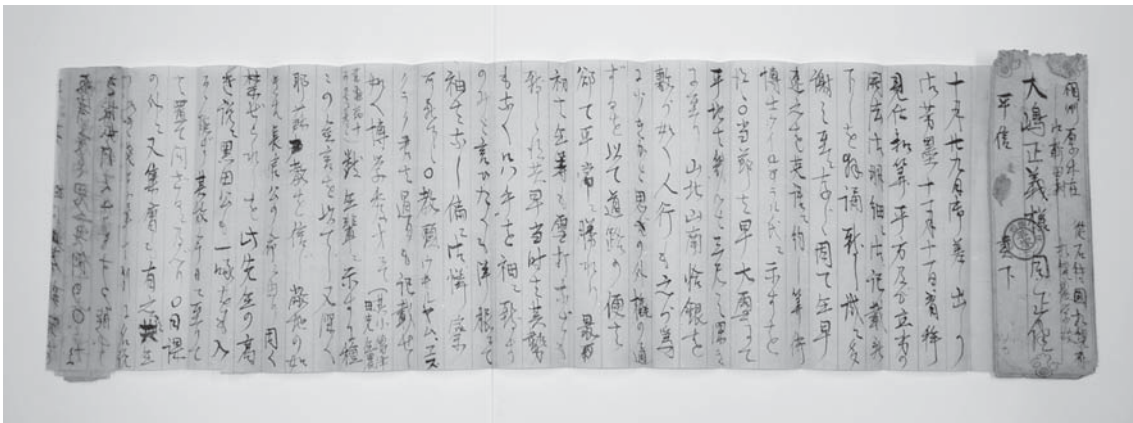
また、（3）は、1665年にヴィッテンベルク（Wittenberg）で、Balthasar-Christoph Wustensより出版されたルター訳聖書です。聖書は、巻頭・巻末の一部分が欠損していますが、（1）旧約聖書の創世記～雅歌、（2）旧約聖書の預言者（Die Propheten）、（3）新約聖書（Das Neue Testament）の3部より構成されています。

今後、受贈した資料は、2009（平成21）年9月に附属図書館北方資料室より移管された資料群（大島智夫氏寄贈資料）と合わせて整理・保管していきます。今年度末発行の『大学文書館年報』第10号には、書簡翻刻・目録等を掲載する予定です。

（大学文書館）



1665年出版のルター訳聖書（新約聖書）



大島正健書簡（1876年11月26日付）

■お知らせ

企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」 第2期：高田屋嘉兵衛とゴロヴニン捕虜事件 開催中

ロビー展示：展示期間 2014年9月1日～2014年12月25日

関連図書展示：展示期間 2014年9月1日～2014年11月30日

7月1日（火）から附属図書館正面玄関ロビーと南棟2階オープンエリアにおいて、企画展示「北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展」を開催しています。

9月1日（月）からは第2期に入り高田屋嘉兵衛に焦点をあてました。彼はゴロヴニン捕虜事件の影響でロシアに捕らわれましたが、国の代表としての意識を持ってゴロヴニンの釈放に奔走し、事件の解決に貢献しました。今回もロシア人との交流を通して、日露の交流の様子を紹介する展示を行っています。

なお、玄関ロビーでは、パネルと展示ケースで関連資料を展示するとともに、アイヌの楽器であるトンコリ（総合博物館所蔵）も展示しています。新たな試みとして平日昼間にトンコリの演奏を流していますので、ぜひ附属図書館へお立ち寄りください。

また、2階オープンエリアでは、小説などを中心に関連する本をまとめて展示しています。ロビー展示を見て興味のわいた方はどうぞ手にとってご覧ください。全て貸出可能となっています。

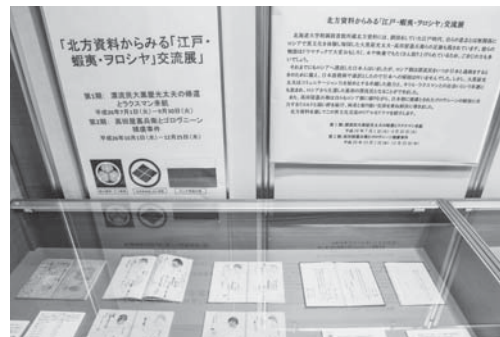
グローバル化が推し進められる現代だからこそ、辞書も文法書もない時代の異文化交流に思いを馳せ、北方資料を通してこのリアルなドラマのおもしろさを味わっていただければ幸いです。

この展示は北方資料ワーキンググループによる企画で、展示物の作成にあたっては文学研究科の谷本晃久准教授に、またトンコリの説明、展示、扱い方についてはアイヌ・先住民研究センターの北原次郎太准教授に指導を受けました。

（附属図書館）



玄関ロビーでの展示風景



玄関ロビーでの展示物



玄関ロビーでのトンコリの展示



オープンエリアでの関連本展示風景

「北海道大学読本」改訂版の発行

「北海道大学読本」の改訂版を発行しました。本広報誌は、「北大を知るなら まずは、ここから」をコンセプトに、本学の魅力や特長を写真やデータと共にわかりやすく紹介した冊子です。気軽に持ち歩けるA5サイズで全22ページ、本学の取り組みをテーマ別に見開きで紹介しています。

改訂にあたり、情報や内容を更新するほか、デザインを一新しました。表紙は、本学のミズナラの木を用いて構内に生えている樹木等の葉を表現し、緑豊かなキャンパスをイメージできるデザインとしました。

各種イベントや来客用などにご活用いただけますので、ご入り用の際には、以下担当までご連絡願います。

◆総務企画部広報課広報・渉外担当

TEL：011-706-2902

E-mail：kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

(総務企画部広報課)



■ 諸会議の開催状況

役員会（平成26年10月8日）

- 議案・平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書の作成方針等について
- ・包括契約について
- 報告事項・北海道大学ホームカミングデー2014の実施報告について
- ・国際広報メディア研究科の廃止について
 - ・平成25事業年度財務諸表の承認について
-

教育研究評議会（平成26年10月15日）

- 議題・正規教員への年俸制適用における定年延長の取扱いについて
- ・ディステイングイッシュトプロフェッサー制度及びユニバーシティプロフェッサー制度の導入について
- 報告事項・北海道大学ホームカミングデー2014の実施報告について
- ・大学間交流協定の新規締結等について
 - ・平成26年度スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」タイプA（トップ型）の採択について
 - ・国際広報メディア研究科の廃止について
 - ・第16回北大・九大合同フロンティア・セミナーについて
 - ・平成25事業年度財務諸表の承認について
-

役員会（平成26年10月27日）

- 議案・正規教員に対する年俸制の導入について
- ・ディステイングイッシュトプロフェッサー制度及びユニバーシティプロフェッサー制度の導入について
 - ・平成27年度年度計画の作成方針等について
 - ・平成26年度中期目標達成強化経費第四次決定事業について
 - ・目的積立金の活用事業について
- 報告事項・超過勤務実績について
- ・資金の運用状況について（平成26年度上半期）
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しております。

■ 学内規程

北海道大学大学院獣医学研究科附属動物病院規程の一部を改正する規程

（平成26年10月1日海大達第186号）

本学大学院獣医学研究科附属動物病院においてリニアックを導入したことに伴い、所要の改正を行うものです。

国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程

（平成26年10月22日海大達第187号）

本年9月30日をもって大学院国際広報メディア研究科が廃止されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

表敬訪問

国内

年月日	来訪者
26.10.15	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長 古川 一夫 氏
26.11.4	札幌高等裁判所長官 大橋 寛明 氏



独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 古川 一夫 氏



札幌高等裁判所長官 大橋 寛明 氏

(総務企画部広報課)

海外

年月日	来訪者	来訪目的
26.11.4	ブカレスト大学（ルーマニア）Mircea Dumitru 学長	共同ワークショップ参加
26.11.5	モンクット王ラカバン工科大学（タイ）Monai Krairiksh 総長代理	両大学の交流に関する懇談



ブカレスト大学（ルーマニア）Mircea Dumitru 学長
（右から4人目）



モンクット王ラカバン工科大学（タイ）
Monai Krairiksh 総長代理（右から5人目）

(国際本部国際連携課)

■人事

平成26年10月10日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【技術職員等】 (辞職)	早 瀬 加奈美	北海道大学病院看護部看護師

平成26年10月14日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【准教授】 大学院獣医学研究科准教授	小 林 篤 史	東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター講師

平成26年10月31日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【教授】 (辞職)	西 岡 健	大学院保健科学研究院教授
【助教】 (辞職)	赤 沼 正 堂	北海道大学病院助教
【技術職員等】 (辞職)	山 田 順 子 安 藤 由莉亜	北海道大学病院薬剤部薬剤師 北海道大学病院看護部看護師

平成26年11月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【准教授】 大学院歯学研究科准教授 大学院教育学研究院准教授 大学院工学研究院准教授 高等教育推進機構准教授	吉 村 善 隆 駒 川 智 子 池 田 賢 一 石 村 源 生	大学院歯学研究科助教 大学院教育学研究院助教 九州大学大学院総合理工学研究院助教 採用
【助教】 大学院歯学研究科助教 大学院獣医学研究科助教 大学院農学研究科助教 (転出) 国立高等専門学校機構旭川工業高等専門学校助教	南 川 元 山 崎 剛 士 高須賀 太 一 兵 野 篤	採用 採用 採用 大学院工学研究院助教
【技術職員等】 大学院工学研究院 北海道大学病院看護部看護師 保健センターカウンセラー	望 月 拓 也 齊 藤 千 晴 諏 訪 麻依子	採用 採用 採用
【特任教授(再雇用)】 北方生物圏フィールド科学センター特任教授	栃 内 新	大学院理学研究院特任教授

訃報

名誉教授 みやはら こうしろう 宮原 孝四郎 氏
(享年93歳)



名誉教授 宮原孝四郎氏は、平成26年9月16日にご逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

先生は、大正10年3月30日北海道に生まれ、昭和18年9月に北海道帝国大学理学部化学科を卒業、同年10月に同大学大学院特別研究生となり、同28年4月に理学部助手に配置換えとなり、

同32年12月に同大学触媒研究所助教授を経て、同39年4月同研究所教授に昇任されました。昭和59年4月に停年により退職、同月北海道大学名誉教授の称号を授与されました。

この間、永年にわたって本学に奉職し、特に、化学専攻分野の大学院生の教育指導にあたり、多くの研究者の育成に努められました。研究面においては、触媒化学及び反応速度論の研究の発展に寄与され、昭和36年7月には「ニッケル蒸着膜によるアンモニアと重水素の水素交換反応について」により理学博士の学位を授与されました。

学内においては、昭和49年4月から同52年1月まで触媒研究所長として大学運営の枢機に参画し、教育行政上多大な功績を残されました。

学外においては、全国の触媒研究者

の組織であった触媒懇談会を触媒学会に発展させることに尽力し、同会で数々の役職を歴任されました。また、昭和55年に日本で開催された国際触媒会議では、組織委員及び座長を務め、斯界の発展に大いに貢献し、その功績に対し、昭和62年度触媒学会名誉賞を受賞され、平成7年4月には勲三等旭日中綬章の荣誉に輝かれました。

以上のように先生は、触媒化学及び物理化学の分野において、優秀な研究者として永年にわたりわが国の学術の進歩に貢献し、教育者として学生の教育・指導を行うとともに、後進の研究者・技術者の育成に尽力されました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(触媒化学研究センター)

名誉教授 さいとう あきら 齋藤 玲 氏
(享年81歳)



医療技術短期大学部名誉教授 齋藤玲氏は、平成26年10月29日にご逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

先生は、昭和8年3月15日に札幌で生まれ、同32年3月北海道大学医学部医学科を卒業され、北海道大学医学部第二内科に入局、同33年4月北海道大学大学院医学研究科に入学し、同37年3月同研究科を修了、医学博士の学位を授与されました。その後、東京医科歯科大学第一内科助手、岩見沢保健所勤務医師を経て昭和42年1月北海道大学医学部内科学第二講座助手に採用となりました。昭和45年9月より同46年

10月まで、米国ハーバード大学チャニング研究所に留学された後、同49年5月北海道大学医学部附属病院第二内科講師に昇任され教育、研究及び診療に従事されました。昭和58年7月北海道大学医療技術短期大学部教授に昇任され、平成8年3月に停年退官、同4月に北海道大学医療技術短期大学部名誉教授の称号を授与されました。この間、コメディカルスタッフの育成に尽力し、また、北海道大学医学部及び歯学部の非常勤講師として、両学部学生の教育並びに臨床的研究を継続されました。

学内においては、昭和60年4月から平成元年3月まで医療技術短期大学部主事、平成5年4月から同7年3月まで同部長を務められ、主事、部長の時期には北海道大学評議員として大学全体の運営にも関わっておられました。

同氏の研究業績は、内科学なかでも感染症と化学療法の分野を中心に、感染症については臨床微生物学的アプローチを、化学療法の面では抗菌薬の体内動態の測定に重きを置いた臨床薬

理的アプローチによる研究をされました。また、インフェクションコントロールドクターの立場から、院内感染の防止対策の方面においても極めて重要な役割を果たされました。

学外では、日本感染症学会、日本化学療法学会、日本臨床検査医学会、日本環境感染学会、日本臨床微生物学会等において評議員として活躍され、平成2年には第24回緑膿菌研究会会長、同3年には第38回日本化学療法学会東日本支部総会会長として学会を主催されました。

退官後は、平成8年8月から社会福祉法人札幌緑花会大倉山学院院長に就任、同13年から同法人札幌緑花会緑ヶ丘療育園院長を務められ、重症心身障がい児・者の診療に携わられました。また、平成21年から同25年まで札幌緑花会理事長を務められました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(保健科学院・保健科学研究院・医学部保健学科)

資料

役 職 員 数

平成26年10月1日現在

部 局 等	職 種	総 長	理 事	監 事	小 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	小 計	専門職	事務職員	技術職員	合 計
役 員		1人	7人	2人	10人										10人
監査室													6		6
事務局	総務企画部												69	1	70
	財務部												79		79
	学務部												64		64
	研究推進部												38	1	39
	施設部												9	27	36
附属図書館												91		91	
文学研究科・文学部						52	37		11		100		15	2	117
法学研究科・法学部						34	17	3	13	4	71		23		94
経済学研究科・経済学部						23	20		6		49	2	7		58
医学研究科・医学部						43	28	18	57	3	149			13	162
医学系事務部													38	2	40
歯学研究科・歯学部						19	15	3	48		85		10	5	100
獣医学研究科・獣医学部						16	15	3	13		47		13	3	63
情報科学研究科						41	36		19		96				96
水産科学院・水産科学研究院・水産学部						31	36	1	8		76			39	115
函館キャンパス事務部													23	4	27
環境科学院・地球環境科学研究院						20	28		10	1	59				59
環境科学事務部													12		12
理学院・理学研究院・理学部						75	74	7	46	2	204	2		19	225
理学・生命科学事務部													41	2	43
薬学研究院・薬学部						15	12	5	24		56			3	59
薬学事務部													11		11
農学院・農学研究科・農学部						47	40	24	11		122			11	133
農学事務部													22	2	24
生命科学院・先端生命科学研究院						11	6	2	10		29				29
教育学院・教育学研究院・教育学部						16	21		1	1	39				39
教育学事務部													7		7
国際広報メディア・観光学院 メディア・コミュニケーション研究院						26	24		1		51				51
メディア・観光学事務部													9		9
保健科学院・保健科学研究院						29	13	7	22	1	72				72
工学院・工学研究院・工学部						102	98	2	88	1	291			51	342
工学系事務部													67	4	71
総合化学院															
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部						12	8	2			22				22
北海道大学病院						5	15	53	86		159		114	661	934
低温科学研究所						14	12	1	19		46		9	9	64
電子科学研究所						16	13		19		48			10	58
遺伝子病制御研究所						9	5	3	14		31			7	38
触媒化学研究センター						8	8		6		22			6	28
スラブ・ユーラシア研究センター						8	4		4	1	17				17
情報基盤センター						7	4		2		13				13
アイソトープ総合センター						1		1	1		3			2	5
総合博物館						2	3	2	2		9				9
量子集積エレクトロニクス研究センター						3	3				6				6
北方生物圏フィールド科学センター						15	15		9		39		18	70	127
知識メディア・ラボラトリー															
脳科学研究教育センター															
人獣共通感染症リサーチセンター						6	4	2	3		15			2	17
大学文書館									1		1			1	2
観光学高等研究センター						3	1				4				4
外国語教育センター															
アイヌ・先住民研究センター						1	5				6				6
社会科学実験研究センター									1		1				1
情報法政策学研究センター															
次世代都市代謝教育研究センター															
数学連携研究センター															
サステイナビリティ学教育研究センター						1					1				1
トロジー理工学教育研究センター															
環境健康科学研究教育センター							1				1				1
保健センター						1		2			3			8	11
国際連携研究教育局						3(10)	(6)		1		4				4
技術支援本部															
情報環境推進本部												1	14	13	28
産学連携本部												7			7
アドミッションセンター															
人材育成本部															
創成研究機構							1		1		2	1		8	11
国際本部						4	10	3			17	4	31		52
高等教育推進機構						3	6				9			4	13
サステイナブルキャンパス推進本部															
安全衛生本部							1				1	1			2
大学力強化推進本部															
フード&メディカルイノベーション推進本部															
北キャンパス合同事務部													14		14
合 計		1	7	2	10	722	639	144	557	14	2,076	18	854	990	3,948

※国際連携研究教育局の教職員数の（ ）内は、北海道大学ユニットの本務者数で内数。当該教職員は、原籍組織の教職員数に計上。
 【教 授】… 医学研究科・医学部1名、獣医学研究科・獣医学部2名、工学院・工学研究院・工学部1名、人獣共通感染症リサーチセンター6名
 【准教授】… 医学研究科・医学部1名、北海道大学病院1名、人獣共通感染症リサーチセンター4名

(総務企画部人事課)

在籍学生数（平成26年10月1日現在）

- (注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率。
 2 [] 内は2年次編入学定員で外数。
 3 [] 内は3年次編入学定員で外数（工学部は高専卒業者の受入れ）。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

■学部

学部等名	入学定員	在籍者数							聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人] [10人]	人	192人	198人	257人	一人	一人	647人 (298<46.1%>)	10人	6人	46人	60人	769人 (380<49.4%>)
教育学部	50 [10]		54	63	66	—	—	183 (86<47.0%>)	1	12	21	23	240 (123<51.3%>)
法学部	200 [10] [10]		220	216	253	—	—	689 (232<33.7%>)	3	3		14	709 (240<33.9%>)
経済学部	190		201	201	225	—	—	627 (166<26.5%>)			27	15	669 (190<28.4%>)
理学部	300		309	330	338	—	—	977 (242<24.8%>)		6	1	12	996 (254<25.5%>)
医学部	287 [5] [20]		314	332	306	107	104	1,163 (508<43.7%>)				3	1,166 (509<43.7%>)
歯学部	53		58	54	43	56	48	259 (102<39.4%>)			2	2	263 (103<39.2%>)
薬学部	80		85	88	85	30	30	318 (121<38.1%>)		1			319 (121<37.9%>)
工学部	670 [10]		695	761	793	—	—	2,249 (324<14.4%>)				23	2,272 (329<14.5%>)
農学部	215	2	227	233	248	—	—	710 (244<34.4%>)	4	1		14	729 (253<34.7%>)
獣医学部	40		43	42	41	41	40	207 (79<38.2%>)				20	227 (89<39.2%>)
水産学部	215		230	217	211	—	—	658 (174<26.4%>)		1	5	10	674 (180<26.7%>)
総合教育部	—	2,660	—	—	—	—	—	2,660 (785<29.5%>)				19	2,679 (800<29.9%>)
合計	2,485 [15] [60]	2,662	2,628	2,735	2,866	234	222	11,347 (3,361<29.6%>)	18	30	102	215	11,712 (3,571<30.5%>)

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

■研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合計
低温科学研究所	3人	人	一人	一人	3人(1<33.3%>)
電子科学研究所	1		—	—	1(0<0.0%>)
遺伝子病制御研究所	2		—	—	2(1<50.0%>)
スラブ・ユーラシア研究センター	2		—	—	2(0<0.0%>)
情報基盤センター	3		—	—	3(2<66.7%>)
国際本部	4		50	25	79(51<64.6%>)
高等教育推進機構	4		—	—	4(3<75.0%>)
総合博物館	3		—	—	3(1<33.3%>)
北方生物圏フィールド科学センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
観光学高等研究センター	3		—	—	3(1<33.3%>)
合計	26	0	50	25	101(61<60.4%>)

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。

また、生命科学学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数。

■大学院

研究科名	修士課程 (博士前期)				専門職学位課程				博士課程 (博士後期及び博士一貫)					聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講生	特別研究生	合計		
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数											
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		小計	1年次	2年次	3年次							4年次	小計
文学研究科	90人	77人	139人	216人 (128/59.3%)	一人	一人	一人	一人	一人	35人	31人	35人	136人	一人	202人 (102/50.5%)	人	1人	16人	4人	9人	448人 (250/55.8%)
法学研究科	20	18	16	34 (15/44.1)	80	22	21	22	133 (26/19.5)	15	7	13	26	—	46 (13/28.3)		2	7	8		230 (63/27.4)
経済学研究科	30	32	34	66 (25/37.9)	20	16	24	—	40 (8/20.0)	15	7	7	15	—	29 (10/34.5)			2	3		140 (46/32.9)
医学研究科	30	22	23	45 (25/55.6)	—	—	—	—	—	100	90	88	98	142	418 (107/25.6)			11		8	482 (140/29.0)
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	33	29	35	44	141 (52/36.9)			12			153 (55/35.9)
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	32	22	21	16	91 (39/42.9)			4		1	96 (39/40.6)
情報科学研究科	177	190	194	384 (25/6.5)	—	—	—	—	—	42	54	39	81	—	174 (27/15.5)			12	1	3	574 (54/9.4)
水産科学院	90	111	101	212 (53/25.0)	—	—	—	—	—	35	17	21	28	—	66 (19/28.8)				5	3	286 (77/26.9)
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			1			1 (1/100.0)
環境科学院	159	134	144	278 (68/24.5)	—	—	—	—	—	63	38	43	78	—	159 (57/35.8)				5	3	445 (130/29.2)
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			33			33 (22/66.7)
理学院	129	138	157	295 (48/16.3)	—	—	—	—	—	56	39	35	53	—	127 (26/20.5)				1	1	424 (74/17.5)
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			8			8 (2/25.0)
薬学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0/0.0)
農学院	150	168	172	340 (102/30.0)	—	—	—	—	—	50	45	33	72	—	150 (54/36.0)				9	2	501 (165/32.9)
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			15			15 (3/20.0)
生命科学学院	132	116	123	239 (72/30.1)	—	—	—	—	—	46	44	35	51	—	146 (47/32.2)	1				5	391 (121/30.9)
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			2			2 (1/50.0)
教育学院	45	50	54	104 (67/64.4)	—	—	—	—	—	21	12	10	70	—	92 (44/47.8)	1			1	1	199 (114/57.3)
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			3			3 (0/0.0)
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	8 (4/50.0)						8 (4/50.0)
国際広報メディア・観光学院	42	51	55	106 (62/58.5)	—	—	—	—	—	17	11	12	51	—	74 (40/54.1)	1				1	182 (103/56.6)
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			23			23 (19/82.6)
保健科学院	26	39	51	90 (39/43.3)	—	—	—	—	—	8	11	12	21	—	44 (19/43.2)						134 (58/43.3)
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			10			10 (8/80.0)
工学院	326	342	354	696 (76/10.9)	—	—	—	—	—	69	53	49	86	—	188 (29/15.4)				7	5	896 (109/12.2)
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			18			18 (3/16.7)
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—	12 (1/8.3)						12 (1/8.3)
総合化学院	129	153	154	307 (53/17.3)	—	—	—	—	—	38	50	48	42	—	140 (31/22.1)					4	451 (84/18.6)
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	24	49	—	73 (19/26.0)	—	—	—	—	—	—			2			75 (20/26.7)
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			7			7 (5/71.4)
合計	1,575	1,641	1,771	3,412 (858/25.1)	130	91	133	22	246 (53/21.5)	680	581	535	989	202	2,307 (721/31.3)	0	8	184	44	46	6,247 (1,771/28.3)

(学務部学務企画課)

広報誌等一覧

平成26年10月調査

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
企画課	北海道大学近未来戦略150	不定期	H26年4月	北海道大学創基150年に向けた近未来戦略
	北海道大学近未来戦略150(英語・日本語併記版)	不定期	H26年8月	北海道大学創基150年に向けた近未来戦略
広報課	北海道大学読本	不定期	H26年10月	「北大を知るならまずここから」をコンセプトに、本学をコンパクトにわかりやすく紹介
	北海道大学読本(英語版)	不定期	H24年1月	
	北海道大学概要	年1回	H26年度版	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載
	北海道大学職員録	年1回	H26年度版	職員の所属や内線電話番号を掲載
	リテラポブリ	年2回	H26年3月	北海道大学の新たなプロジェクトや変革、教育研究、及び緑豊かなキャンパス等を紹介
	北大時報	月1回	H26年10月	その月の大学や部局のニュース、お知らせ等を掲載
	キャンパスガイドマップ	不定期	H25年10月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介
主計課財務管理室	財務レポート	年1回	H25年10月	財務諸表では伝わりにくい財務情報をわかりやすく分析し、併せて本学の活動のうち特徴的なものを財務情報を交えて紹介
	財務レポート(リーフレット版)	年1回	H25年10月	財務レポートから企業や寄附者向けの情報を抜粋し、携帯や配布がしやすいようにリーフレット版としたもの
	北大の家計簿	年1回	H25年10月	財務に興味のない方にも手に取ってもらえるよう、北大に関する数字をテーマに家計簿に見立て、リーフレットとして紹介
学務企画課	平成26年度大学院理工系専門基礎科目・大学院共通授業科目履修案内	年1回	H26年3月	大学院理工系専門基礎科目と大学院共通授業科目の授業内容と時間割
	CoSTEP受講生募集案内	年1回	H26年3月	CoSTEPの学生募集案内冊子(要項)
	北海道大学オープンコースウェア活動報告書	年1回	H26年3月	北海道大学オープンコースウェアの活動報告書
	北海道大学オープンコースウェアニュースレター	年1回	H26年1月	北海道大学オープンコースウェアのニュースを報告
	北海道大学オープンコースウェアポスター・リーフレット・パンフレット	年1~2回	H26年4月	高校生、学生、教職員向けに、北海道大学オープンコースウェアの利用に関する案内を掲載
教育推進課	北海道大学全学教育科目実施の手引き(教職員用)	年1回	H26年4月	教職員向けに全学教育科目実施のための関係資料を掲載
	北海道大学全学教育科目実施の手引き(非常勤講師の方々へ)	年1回	H26年4月	上記手引きの別冊、非常勤講師の発令や授業実施関係等を掲載
	北海道大学の全学教育-コアカリキュラムと基礎科目からのメッセージ-	不定期	H26年4月	北海道大学の教養教育の内容について、コアカリキュラムを中心に解説(日本語)
	総合教育部便覧	年1回	H26年4月	1年次学生に対する履修方法の周知及び学生生活全般の案内
	総合教育部シラバス(第1学期・第2学期)	年2回	H26年9月	全学教育科目の講義内容・評価方法等の案内
	アカデミック・サポートセンターリーフレット	年1回	H26年4月	アカデミック・サポートセンターの利用に関する案内
	アカデミック・マップ	年1回	H26年4月	進級、学部移行の参考として各学部学科等の研究内容等を掲載
	アカデミック・サポートセンターニュース	年4回	H26年9月	アカデミック・サポートセンターで実施する学習サポート、セミナーの情報
学生支援課	えるむ	年3回	H26年8月	学生向けに学内行事・ニュース・お知らせ等を掲載
	北大元気プロジェクト実施報告書	年1回	H26年4月	北大元気プロジェクトの活動報告を掲載
	学生生活の案内	年1回	H26年4月	学部学生向けの学生生活案内
	とっでも北大生	4年に1回	H26年8月	学生生活実態調査の結果を元に北大生の学生生活を紹介
	北海道大学学生寮入寮案内-恵迪寮-	年1回	H26年1月	学生寮(恵迪寮)の概要・入寮出願手続き等を掲載
	北海道大学学生寮入寮案内-霜星寮-	年1回	H26年1月	学生寮(霜星寮)の概要・入寮出願手続き等を掲載
	北海道大学学生寮入寮案内-北大インターナショナルハウス北23条2号棟-	年1回	H26年1月	学生寮(北大インターナショナルハウス北23条2号棟)の概要・入寮出願手続き等を掲載
	大滝セミナーハウスリーフレット	不定期	H26年4月	大滝セミナーハウスの施設紹介
入試課	Be ambitious(大学案内)	年1回	H26年6月	学部等の紹介、修学コースマップ、入試・教育・学生生活の紹介
	オープンキャンパス	年1回	H26年5月	オープンキャンパスの実施内容を掲載
	AO入試案内	年1回	H26年5月	AO入試の概要について掲載
	入学者選抜要項	年1回	H26年7月	平成27年度入学者選抜に関する概要
	北大キャンパスビジットプロジェクト北大ぐるぶらマップ	不定期	H26年3月	北大キャンパスビジットプロジェクト概要紹介、キャンパス案内
	知のフロンティア-北海道大学の研究者は、いま-	不定期	H26年10月	本学教員の研究内容紹介

部局名		広報誌等名	発行回数	最新版 発行年月	掲載内容等
事務局	キャリアセンター	キャリアハンドブック2015	年1回	H26年9月	就職希望学生に対する情報等を掲載
		キャリア通信	年4回	H26年9月	学生に対する就職、インターンシップ、各種ガイダンス情報等を掲載
		キャリアハンドブック2015 (日本語・英語併記版) (日本語・中国語併記版) -外国人留学生のためのキャリアハンドブック	年1回	H26年9月	日本での就職を希望する留学生に対する情報等を掲載
	施設企画課	北海道大学キャンパスマスタープラン 2006	不定期	H19年10月	施設整備の基本方針を定めるキャンパスマスタープラン96の骨子を継承しつつ、さらに教育・研究の目標、計画の変化に柔軟に対応するための施設・環境のマネジメントを重視した計画を掲載
北海道大学キャンパスマスタープラン 2006 リーフレット		不定期	H19年10月	キャンパスマスタープラン2006の概要を掲載	
附属図書館	北海道大学附属図書館概要	年1回	H26年5月	附属図書館のサービス、沿革、イベント等の概要を掲載	
	北海道大学附属図書館年報	年1回	H26年8月	附属図書館の活動のトピックス紹介、統計、組織、人事往来等を掲載	
	北海道大学附属図書館本館利用案内 (リーフレット) 日本語版	年1回	H26年4月	附属図書館本館の利用に関する案内等を掲載	
	Hokkaido University Library Guide (リーフレット) 英語版	年1回	H26年4月		
	北海道大学附属図書館北図書館利用案内 (リーフレット) 日本語版	年1回	H26年4月	附属図書館北図書館の利用に関する案内等を掲載	
	北海道大学附属図書館北方資料概要	不定期	H25年3月	附属図書館所蔵北方資料の利用に関する案内等を掲載	
	榆蔭 (北海道大学附属図書館報)	年4回	H26年10月	学生向けに附属図書館のサービス紹介、ニュース等を掲載	
	HUSCAPレター	不定期	H26年3月	北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP) 収載文献の紹介記事等を掲載	
北海道大学学術成果コレクション (リーフレット)	不定期	H20年3月	北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP) の概要及び運用の紹介		
文学研究科・文学部	北海道大学大学院文学研究科・文学部概要	年1回	H26年7月	文学部の沿革、歴代学部長、組織運営等の概要を掲載	
	文学研究科・文学部ニュース	年1回	H26年5月	委員会からの報告、研究成果、公開講座のお知らせ、人事等、学部内の状況を掲載	
	北海道大学大学院文学研究科案内	年1回	H26年6月	研究科の担当教員や専攻・専修紹介、学生生活、授業内容、入試情報、進路・就職情報等を掲載	
	北海道大学文学部案内	年1回	H26年7月	学部の担当教員や履修コース紹介、学生生活、授業内容、留学情報、入試情報、進路・就職情報等を掲載	
	北海道大学文学部教育研究年報	不定期	H8-10年版	教育研究活動等を掲載	
	北海道大学文学部学外評価委員会報告書	不定期	H10年3月	外部評価報告書	
	北海道大学文学研究科紀要	年3回	H26年7月	文学研究科専任教員の研究成果を論文として掲載	
	学生便覧 (文学部)	年1回	H26年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載	
	学生便覧 (文学研究科)	年1回	H26年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載	
	専門科目シラバス	年1回	H26年4月	専門科目の開講科目一覧、シラバスを掲載	
	Syllabus	年1回	H26年4月	大学院 (修士課程) 科目の開講科目一覧、シラバスを掲載	
	北海道大学大学院文学研究科研究論集	年1回	H25年12月	文学研究科大学院学生の研究成果を論文として掲載	
	北海道大学大学院文学研究科研究叢書	年1~3回	H26年7月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の公表	
	Journal of the Graduate School of Letters	年1回	H26年3月	文学研究科教員及び大学院学生の研究成果を英文論文として掲載	
	北海道大学大学院文学研究科ライブラリ	年2回	H25年3月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の成果、公開講座のテキストを掲載	
	北海道大学文学部リーフレット	不定期	H23年7月	受験生、一般市民向けに文学部の概要を紹介するリーフレット	
	文学研究科紹介DVD	年1回	H26年5月	文学研究科の研究教育システム、各専修の紹介、進路情報などをまとめた映像、約8分、大学院進学説明会にて上映	
	文学部紹介DVD	年1回	H26年7月	文学部の教育システム、各コースの紹介、進路情報などをまとめた映像、約20分、オープンキャンパスにて上映	
	文学研究科大学院進学説明会	年1回	H26年6月	文学研究科の入試情報、カリキュラム、支援情報、進路情報、学位論文題目などを掲載	
	Graduate School of Letters / Faculty of Letters	不定期	H26年2月	文学研究科・文学部の海外向け英文パンフレット、文学研究科・文学部の概要をコンパクトにまとめて掲載	
法学研究科・法学部	法学部案内 Be Ambitious	不定期	H26年6月	法学部での学生生活、学修内容や教員等の紹介	
	北大法学論集	年6回	H26年9月	文献の論説、資料の紹介及び判例研究を掲載	
	北大法政ジャーナル	年1回	H25年12月	法学研究科修士論文の「優」に相当する論文及びリサーチペーパー	
	法学研究科学生便覧・講義要領	年1回	H26年3月	授業日程、開講科目一覧、科目内容説明、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内	
	学生便覧・講義要領 (法科大学院)	年1回	H26年3月	授業日程、開講科目一覧、科目内容説明、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内	
	授業科目要覧 (SYLLABUS) 2~4年生用 (法学部)	年1回	H26年3月	学部専門科目の授業内容、教材・評価方法等の案内	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
法学研究科・法学部	法学部学生便覧	年1回	H26年3月	規程関係、授業の履修方法及び卒業要件、学生生活の案内
	附属高等法政教育研究センター NewsLetter j-mail	不定期	H26年6月	主催シンポジウムの報告、所属教員・研究会の研究内容等を掲載
	大志ある法曹をめざして (法科大学院パンフレット)	年1回	H26年6月	法科大学院の教育プログラム、教員の紹介、入試制度等を掲載
	自己点検・評価報告書	不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の自己点検・評価報告書
	自己点検・評価報告書評価資料集	不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の自己点検・評価に関する資料集
	外部評価報告書	不定期	H22年3月	法学研究科・法学部の外部評価報告書
経済学研究科・経済学部	北海道大学大学院経済学研究科・経済学部概要	隔年	H26年4月	経済学研究科・経済学部の沿革、組織、学生数、職員数等の概要を掲載
	北海道大学大学院経済学研究科 (紹介パンフレット)	不定期	H25年4月	経済学研究科への入学を目指す方を対象に、研究科の構成、入試情報、研究内容等を紹介
	北海道大学アカウンティングスクール (紹介パンフレット)	不定期	H26年4月	経済学研究科専門職学位課程への入学を目指す方を対象に、入試情報、講義科目等を紹介
	経済学部のすべて (紹介パンフレット)	不定期	H26年4月	経済学部への入学を目指す方を対象に、学部の構成、授業科目、入試情報、学生生活等を紹介
	北海道大学経済学部点検評価報告書	4年に1回	H25年11月	学部の研究活動状況、教育活動状況等を自己点検したものを掲載
	北海道大学経済学部外部評価報告書	不定期	H11年3月	学部の研究活動状況、教育活動状況等に係る第三者評価結果を掲載
	北海道大学経済学部外部評価資料	不定期	H26年8月	学部の研究活動状況、教育活動状況等に係る第三者評価を受けるための基礎資料
	経済学部学生便覧	年1回	H26年3月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	講義要領 (学部2～4年生用)	年1回	H26年3月	全学教育科目2年次及び経済学部専門科目の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究科学生便覧	年1回	H26年3月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載
	経済学研究科講義要領	年1回	H26年3月	経済学研究科修士課程及び博士後期課程の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究科会計情報専攻講義要領	年1回	H26年3月	経済学研究科専門職学位課程の開講科目、講義内容等を掲載
	経済学研究 (邦文紀要)	年2回	H26年6月	経済学研究科所属の教員・大学院生の研究論文 (和文) を掲載
	Economic Journal of Hokkaido University (欧文紀要)	年1回	H23年12月	経済学研究科所属の教員・大学院生の研究論文 (欧文) を掲載
地域経済・経営ネットワーク研究センター 年報	年1回	H26年3月	地域経済・経営ネットワーク研究センター及び経済学研究科の研究成果を発信	
医学研究科・医学部	北海道大学大学院医学研究科・医学部 医学科概要 (日本語版)	年1回	H25年9月	医学研究科・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部 医学科概要 (英語版)	年1回	H24年11月	医学研究科・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載 (英文)
	北海道大学大学院医学研究科・医学部 医学科広報	年4回	H26年10月	医学研究科・医学部医学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部 活動報告書	不定期	H16年版	点検評価 (研究活動の状況、研究実績等) を掲載
	北海道大学大学院医学研究科・医学部 医学科紹介DVD	年1回	H26年7月	入学志願者、一般向けにカリキュラム、医学研究科・医学部医学科の特色等を紹介
	北海道大学大学院医学研究科博士課程 案内 (日本語版)	年1回	H26年5月	入学志願者、一般向け医学研究科博士課程案内
	北海道大学大学院医学研究科博士課程 案内 (英語版)	年1回	H26年9月	入学志願者、一般向け医学研究科博士課程案内 (英文)
	北海道大学大学院医学研究科修士課程 案内 (日本語版)	年1回	H26年5月	入学志願者、一般向け医学研究科修士課程案内
	北海道大学大学院医学研究科修士課程 案内 (英語版)	年1回	H26年9月	入学志願者、一般向け医学研究科修士課程案内 (英文)
	医学研究科医科学専攻修士課程授業 要項	年1回	H26年度版	修士課程シラバス
	医学研究科博士課程授業要項	年1回	H26年度版	博士課程シラバス
	大学院医学研究科 (修士課程・博士課程) 学生便覧	年1回	H26年度版	医学研究科学生便覧、規定等を掲載
	北海道大学医学部医学科案内	年1回	H26年7月	入学志願者、一般向け医学科案内
	医学とともに歩む	年1回	H26年度版	医学科専門科目シラバス
	医学とともにある学生生活	年1回	H26年度版	医学科学生便覧、規程等を掲載
	VIS - Voice of the International Students - 国際連携室だより (英日バイリンガル版)	年数回程度	H26年2月	留学生の意見、北大生と関係がある国際交流イベントの紹介・参加者の感想等を掲載
	北海道大学医学部保健学科案内	年1回	H26年度版	受験生向け保健学科案内
	医学部保健学科学生便覧	年1回	H26年度版	保健学科学生便覧、規程等を掲載
	医学部保健学科授業概要 (シラバス)	年1回	H26年度版	専門科目シラバス
	早期臨床体験実習 要領・資料集	年1回	H26年度版	学部2年次生を対象とした早期臨床体験実習の実習要領・領域ガイダンス資料

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
歯学研究科・歯学部	北海道大学大学院歯学研究科・歯学部概要	年1回	H26年度版	沿革、組織等、研究科・学部の概要を掲載
	北海道大学大学院歯学研究科・歯学部・歯科診療センター広報	年1回	H26年8月	行事紹介、研究活動紹介、新任教員紹介、歯科治療の紹介、学生ニュース等を掲載
	北海道大学歯学部学部紹介	年1回	H26年度版	歯学部を志願する高校生向けの学部案内
	北海道大学大学院歯学研究科紹介	年1回	H26年度版	歯学研究科の志願者向けの研究科案内
	Syllabus (専門科目)	年1回	H26年度版	歯学部専門科目の各科目、授業内容等を解説
	Syllabus (大学院授業科目)	年1回	H26年度版	大学院授業科目、授業内容等を解説
	平成26年度歯学部学部別入試入学者諸君へ	年1回	H26年3月	歯学部新入生に対する学生生活等の案内
獣医学研究科・獣医学部	学生便覧 (歯学部・歯学研究科)	年1回	H26年3月	学部・大学院学生に対する修学・厚生補導・関連規程等を掲載
	光れる北を	不定期	H26年3月	獣医学部案内
	The Japanese Journal of Veterinary Research	年4回	H26年8月	欧文による研究論文の発表、広報
	北海道大学 獣医学研究科 獣医学部 概要	不定期	H26年4月	獣医学研究科・獣医学部の沿革・組織・職員数等の概要を掲載
	獣医学部附属動物病院	不定期	H25年9月	動物病院の施設・設備等診療案内
	外部評価報告書	4年に1回	H15年12月	外部評価委員による、獣医学研究科・獣医学部の施設・設備等の評価を公表
	自己点検評価報告書	4年に1回	H10年6月	獣医学研究科・獣医学部の点検・評価事項を公表
	学生による授業評価 平成16年度調査報告	不定期	H17年10月	学生による授業評価アンケート調査の集計結果を掲載
情報科学研究科	便覧・シラバス	年1回	H26年3月	獣医学研究科に係る修学・学生生活について、開講授業科目の内容を掲載
	学生便覧・シラバス	年1回	H26年3月	獣医学部に係る修学・学生生活について、開講授業科目の内容を掲載
	北海道大学大学院情報科学研究科	年1回	H26年4月	情報科学研究科の研究内容等に関する紹介
	北海道大学大学院情報科学研究科 (日本語版リーフレット)	年1回	H26年4月	情報科学研究科の紹介
	北海道大学大学院情報科学研究科 (英語版リーフレット)	年1回	H26年4月	情報科学研究科の紹介
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	IST NEWS	年4回	H26年10月	情報科学研究科のニュースを掲載
	北海道大学大学院情報科学研究科学生便覧	年1回	H26年3月	情報科学研究科学生用の学生便覧 (学修及び学生生活に必要な事項を掲載)
	北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部概要	年1回	H26年度版	沿革、組織、講座等の紹介 (一般向け)
	北海道大学水産学部 PR誌 aQua	不定期	H26年7月	学部、学院、各学科及び各専攻の紹介 (学生向け)
	北海道大学水産学部附属練習船おしよ丸	不定期	H22年7月	附属練習船おしよ丸の概要紹介
	北海道大学水産学部附属練習船うしお丸	不定期	H14年3月	附属練習船うしお丸の概要紹介
	北海道大学水産科学研究彙報 (Bulletin of Fisheries Sciences, Hokkaido University)	年3回	H26年7月	英文・和文で書かれた報文、短報等をまとめたもの
	Memoirs of the Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University (北海道大学大学院水産科学研究院紀要)	年2回	H26年5月	学術的価値を有し、まとまった研究成果を公表する報文、特定分野に従来の研究を総合的にまとめた総合論文 (レビュー) 等を掲載
	Data Record of Oceanographic Observations and Exploratory Fishing (海洋調査漁業試験要報)	年1回	H25年3月	本学部練習船を用いて行った海洋観測、生物調査、漁業試験結果の紹介
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題 - 自己点検評価報告書 -	不定期	H20年3月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題 - 外部点検評価報告書 -	不定期	H20年4月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの
	環境科学院・地球環境科学研究院	学生寮入寮案内 - 北晨寮	不定期	H25年7月
水産学部学生便覧		年1回	H26年4月	水産学部における学修及び学生生活に必要な事項を掲載
大学院水産科学院学生便覧		年1回	H26年4月	水産科学院における学修及び学生生活に必要な事項を掲載
北海道大学大学院環境科学院の紹介		年1回	H26年度版	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載
理学院・理学研究院・理学部	学生便覧	年1回	H26年度版	環境科学院の教育・研究内容、授業科目の概要、規程関係、行事予定表、授業時間割、建物配置図等を掲載
	授業計画 (Syllabus)	年1回	H26年度版	環境科学院の開講科目、講義内容等を掲載
	英文リーフレット	不定期	H26年度版	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載
	北海道大学大学院理学研究院・理学院・理学部概要	年1回	H23年度版	沿革、組織、職員数、学生数、建物案内、附属施設等の紹介
	北海道大学大学院理学研究院・理学院・理学部広報	年4回	H24年7月	研究活動・行事・シンポジウム等により、新任教員紹介、受賞関係、外国人研究者等受入関係、人事異動、教務関係行事予定等を掲載 (HPにて公開)
理学院・理学研究院・理学部	外部評価資料 (数学・物理学・化学・生物科学・地球惑星科学専攻)	1回	H8-10年	大学院重点化に係る点検評価資料
	外部評価 (数学・物理学・化学・生物科学・地球惑星科学専攻)	1回	H9-11年	大学院重点化に係る外部評価委員の評価及び提言
	北海道大学大学院理学研究院・理学部・理学院 外部評価委員会 評価報告書	不定期	H26年4月	外部評価意見書、自己点検評価書・別添資料、概要説明資料等、第二中期目標・中期計画

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
理学院・理学研究院・理学部	理学部パンフレット「リガクの世界をのぞいてみない？」	年1回	H26年度版	理学部各専攻の概要や附属施設の紹介及び卒業生の進路、意見等を掲載	
	理学部学生便覧	年1回	H26年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法を掲載	
	理学部案内(学部別入試入学用)	年1回	H26年度版	学部別入試により入学した1年次用の学修及び学生生活に関する規程並びに理学部からの周知事項を掲載	
	大学院学生便覧	年1回	H26年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法を掲載	
	SYLLABUS 平成26年度大学院入学者のための授業内容	年1回	H26年度版	理学院開講科目の授業内容を掲載	
	北海道大学大学院理学院数学専攻	年1回	H26年5月	数学専攻スタッフ一覧、専門紹介、修士課程の履修について掲載	
	Hokkaido Mathematical Journal(紀要)	年3回	H26年10月	研究論文	
	数学科目ガイド	不定期	H25年4月	数学科の学部学生向け科目案内(全学教育科目、専門科目)	
	Hokkaido University Preprint Series in Mathematics	不定期	H26年8月	研究論文速報(HPにて公開)	
	Hokkaido University Technical Report Series in Mathematics	不定期	H26年8月	研究集会、特別講演等、本学で講演されたもののアブストラクト集	
	北海道大学理学部数学科ガイド	年1回	H26年6月	新1年生向け数学科の案内	
	北海道大学理学部化学科パンフレット	不定期	H26年6月	化学科の研究室・研究内容等の紹介	
	Annual Report 2013(化学専攻)	年1回	H26年7月	各研究室の研究業績・外部資金獲得状況等の紹介、各種大学院教育プログラム実績の紹介	
	物理学部門年次報告書	年1回	H26年10月	部門の活動一覧、各研究グループの成果報告	
	北海道大学理学部生物科学科(生物学)学科案内	年1回	H26年5月	高校生・一般向け講座紹介、入学から卒業までの過程、授業内容、高校生一日入学紹介、教員名簿、卒業後の進路(過去3年間)を掲載	
	北海道大学理学部生物科学科(生物学)広報	年1回(漸次更新)	H26年6月	高校生・一般向け講座紹介、教員紹介、各種お知らせ、いきものがたり、生物学者列伝、入学から卒業までの過程、授業内容等を掲載(HPにて公開)	
	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)パンフレット	年1回	H26年7月	学科内容、研究室等の紹介	
	北海道大学大学院理学院宇宙理学専攻専攻案内パンフレット	不定期	H25年6月	専攻内容及び各研究室研究内容メンバーの紹介	
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻概要	不定期	H26年6月	専攻の組織、カリキュラム、講座紹介・教員紹介等を掲載	
	北海道大学理学部地球惑星科学科パンフレット	不定期	H26年2月	学科内容の紹介、教員紹介	
	北海道大学地球物理学研究報告	年1回以上	H26年3月	研究論文の発表	
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星ダイナミクス講座	不定期	H25年6月	ダイナミクス講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載	
	International Graduate Program in the Natural History Sciences(I-NHS)	不定期	H25年6月	ダイナミクス講座、システム講座、地震火山学講座の大学院国費留学生制度の募集案内	
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星システム科学分野	不定期	H24年6月	システム科学講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載	
	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター	不定期	H24年3月	学部学生を対象として、沿革、分野の紹介等、センターの概要を掲載	
	The Institute of Seismology and Volcanology Faculty of Science, Hokkaido University	不定期	H24年3月	外国人研究者及び留学生等を対象として、沿革、分野の紹介等、センターの概要を掲載	
	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター報	年1回	H26年10月	センターとしての活動・研究活動・教育活動及び構成員名簿を掲載	
	薬学研究院・薬学部	生命科学の最先端へ	年1回	H26年7月	学部紹介パンフレット
		北海道大学薬学部学生便覧	年1回	H26年度版	学修及び学生生活に必要な事項を掲載(H26年度学科分属者用及び学部移行者用)
		北海道大学薬学部講義要項(専門科目)	年1回	H26年度版	専門科目の授業内容を掲載(H26年度学科分属者用及び学部移行者用)
北海道大学大学院薬学研究科・薬学部外部点検評価報告書		不定期	H26年3月	点検評価	
北海道大学大学院薬学研究院・薬学部自己点検評価報告書		不定期	H25年10月	点検評価	
農学院・農学研究院・農学部	北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部概要	年1回	H26年度版	農学研究院・農学院・農学部の沿革等の概要を掲載(和文・英文併記)	
	北海道大学大学院農学研究院・農学部広報	不定期	H22年3月	農学研究院・農学部のニュース、お知らせ等を掲載	
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要	年2回	H26年6月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	
	Journal of the Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University(北海道大学大学院農学研究院欧文紀要)	年1回	H23年2月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要別冊「農経論叢」	年1回	H26年4月	農業経済に関する学術研究論文誌	
	Insecta Matsumurana	年1回	H26年10月	昆虫学に関する学術研究論文誌	
	北海道大学大学院農学院学生便覧	年1回	H26年4月	大学院生の授業・学生生活に関する説明	
北海道大学農学部学生便覧(2年次進級者用)	年1回	H26年4月	学部生の授業・学生生活に関する説明		

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
農学院・農学研究院・農学部	農学部授業要綱集（専門科目）	年1回	H26年4月	学部専門科目の紹介
	農学院授業要綱集	年1回	H26年4月	大学院授業科目の紹介
	SCHOOL OF AGRICULTURE	不定期	H26年7月	各学科・附属施設の内容紹介（冊子）
	北海道大学農学部 SCHOOL OF AGRICULTURE	不定期	H24年7月	各学科・附属施設の内容紹介（リーフレット）
生命科学院・ 先端生命科学研究院	北海道大学大学院先端生命科学研究院・ 生命科学院概要	年1回	H23年度版	沿革、組織、職員数、学生数、外部資金等を掲載
	北海道大学大学院生命科学院 平成21年度 外部評価委員会評価報告	不定期	H22年3月	中期計画期間終了に伴う自己点検評価及び外部評価
	北海道大学大学院先端生命科学研究院 外部評価委員会 評価報告書	不定期	H26年4月	第2期中期目標・中期計画における自己点検評価及び外部評価
	北海道大学大学院生命科学院 外部評価委員会 評価報告書	不定期	H26年4月	第2期中期目標・中期計画における自己点検評価及び外部評価
	北海道大学大学院先端生命科学研究院 パンフレット	不定期	H26年3月	構成、研究活動、連携、支援体制、人材育成、研究室紹介
	次世代ポストゲノム研究センター	不定期	H19年9月	構成、沿革、関連研究室紹介、研究機器の説明等を掲載
	次世代ポストゲノム研究センター Annual Report 2013年度	年1回	H26年10月	研究活動、研究業績、研究資金等を掲載
	生命科学院学生便覧	年1回	H26年度版	学修及び学生生活に関する規程及び手続方法等を掲載
	SYLLABUS 平成26年度大学院入学者のための授業内容	年1回	H26年度版	生命科学院開講科目の授業内容を掲載
	北海道大学大学院生命科学院パンフレット	年1回	H26年度版	大学院受験生への学院紹介、研究概要、入試概要、施設・設備紹介
	北海道大学 大学院生命科学院 生命医 薬科学コース	年1回	H26年度版	コース概要（2014-2015）
	北海道大学 大学院生命科学院 生命融 合科学コース パンフレット	年1回	H24年5月	コース概要
	北海道大学 大学院生命科学院 生命シ ステム科学コース	年1回	H26年度版	コース概要
教育学院・ 教育学研究院・ 教育学部	北海道大学教育学部案内	年1回	H26年度版	各研究グループの紹介、開講科目一覧、学生の声、卒業生の声、国際交流状況等を掲載
	北海道大学大学院教育学院入学案内	年1回	H26年度版	各研究グループを紹介
	北海道大学教育学部・北海道大学大学院 教育学院便覧	年1回	H26年度版	履修上の注意、学生生活上の注意、その他学生として知っておかなければならない事項を掲載
	北海道大学教育学部・北海道大学大学院 教育学院シラバス	年1回	H26年度版	講義題目、開講時期、担当教員名、授業科目のねらい、授業内容、成績評価の方法等を掲載
	北海道大学教育学部有識者懇談会報告書 －第三者点検評価報告書－	不定期	H16年2月	研究・教育・管理運営面について、各界の有識者と教員との意見交換の内容を掲載
	自己点検評価報告書 平成22年度～平成24年度	不定期	H26年3月	研究・教育・管理運営面について、教員間の意見交換の内容を掲載
	北海道大学大学院教育学研究院紀要	年2回	H26年6月	研究の成果を論文として掲載
	北海道大学教職課程年報	年1回	H26年3月	北海道大学教職課程に関連した調査研究及び授業実践等に関する論文や各種資料を掲載
国際広報メディア・観光学院、 メディア・コミュニケーション研究院	北海道大学大学院国際広報メディア・観 光学院概要	年1回	H26年4月	学院の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	国際広報メディア・観光学ジャーナル	年2回	H26年3月	教員の教育・研究成果の公表、博士後期課程学生の研究発表
	学生便覧	年1回	H26年度版	履修及び学生生活に必要な事項
	シラバス（マスター）	年1回	H26年度版	授業内容の詳細
	北海道大学大学院国際広報メディア・観 光学院観光創造専攻	不定期	H22年4月	観光創造専攻の紹介
	北海道大学大学院国際広報メディア・観 光学院 国際広報メディア専攻 観光創造 専攻（リーフレット）	年1回	H26年度版	学院の紹介、入試日程概要
	北海道大学大学院国際広報メディア・観 光学院 国際広報メディア専攻 観光創造 専攻（リーフレット）中国語版	年1回	H26年度版	学院の紹介、入試日程概要（中国語版）
	メディア・コミュニケーション研究	年2回	H26年3月	教員の研究報告
	大学院メディア・コミュニケーション研 究院 研究叢書	年2回	H20年3月	教員の研究報告
保健科学院・ 保健科学研究院	北海道大学大学院保健科学研究院・大 学院保健科学院・医学部保健学科概要	年1回	H25年度版	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載
	北海道大学大学院保健科学研究院広報 「ブラテュス」	年2回	H26年9月	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載
	北海道大学大学院保健科学院保健科学専 攻案内	隔年	H26年度版	受験生向け専攻案内
	北海道大学大学院保健科学院学生便覧	年1回	H26年度版	保健科学院院生便覧、規程等を掲載
	北海道大学大学院保健科学院授業概要 （シラバス）	年1回	H26年度版	保健科学院専攻共通基礎科目及びコース別専門科目シラバス

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
保健科学院・保健科学研究所	北海道大学大学院保健科学院・医学部保健学科FDワークショップ報告書	年1回	H25年9月	保健科学院・医学部保健学科で実施したFDワークショップの報告書 (メール配信のほか、冊子を10部ほど作成)	
	北海道大学大学院保健科学研究所・大学院保健科学院(医学部保健学科)年報	年1回	H25年10月	沿革、組織、研究活動、教育活動等を掲載(CD-ROM)	
工学院・工学研究所・工学部	北海道大学大学院工学研究所・工学院・工学部概要(和文・英文)	年1回	H26年度版	沿革、組織、職員数等、工学研究所・工学院・工学部の概要を掲載	
	北海道大学大学院工学研究所・工学院広報誌「えんじにあRing」	年4回	H26年10月	工学研究所・工学院の研究紹介、ニュース等を掲載	
	研究業績	年1回	H19年6月	研究業績の紹介	
	北海道大学工学系教育研究センター平成25年度活動報告書および外部評価報告書	年1回	H26年3月	工学系教育研究センターの報告書(活動、外部評価)	
	北海道大学総合若手人材育成事業平成25年度活動報告書および外部評価報告書	隔年	H26年3月	人材育成本部と実施している総合若手人材育成事業の報告書(活動、外部評価)	
	北海道大学工学系教育研究センターリーフレット(和文/英文併記)	不定期	H26年7月	工学系教育研究センターの紹介	
	北大CEED(工学系教育研究センター)eラーニングのご案内(和文・英文)	不定期	H26年3月	工学系教育研究センターeラーニングシステム開発部で提供しているeラーニングに関する紹介。視聴方法等案内。多言語化への取組。	
	北海道大学大学院工学院学生便覧	年1回	H26年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載	
	北海道大学大学院工学院授業計画(シラバス)	年1回	H26年4月	大学院学生用のシラバス	
	北大工学部のすべて(学部紹介パンフレット)	隔年	H25年4月	工学部への入学を目指す高校生を対象に、工学部の概要、特に4学科16コースの内容を中心に紹介	
	Girls, Be ambitious!	不定期	H23年4月	工学部への入学を目指す女子学生を対象に、工学部を紹介するパンフレット	
	「想像を超えた未来を創造する」(学部紹介リーフレット)	不定期	H22年3月	工学部への入学を目指す高校生を対象に、工学部の4学科の概要・研究紹介を掲載したリーフレット	
	就職に強い!工学部	不定期	H26年8月	工学部・工学系大学院の就職状況を紹介	
	北海道大学工学部学生便覧	年1回	H26年4月	学修及び学生生活に必要な事項を掲載	
	北海道大学工学院英語特別コースパンフレット(英文)	年1回	H26年3月	工学分野リーダー育成英語特別コース(e3)の概要紹介	
	北海道大学工学部 情報エレクトロニクス学科(パンフレット)	年1回	H26年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介	
	北海道大学大学院工学研究所附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センターパンフレット(和文・英文)	隔年	H24年10月	センターの沿革、組織、研究内容、業績等統計を掲載	
	北海道大学大学院工学研究所附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター年報	年1回	H24年12月	センターの機構・組織、研究内容、研究成果を掲載	
	北海道大学大学院工学研究所附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センターマルチビーム超高圧電子顕微鏡(パンフレット)	不定期	H25年4月	超高圧電子顕微鏡及び周辺機器の仕様、研究例、沿革等を掲載	
	北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センター外部中間評価報告書	1回	H20年3月	H19年11月開催の外部中間評価概要、評価資料、外部委員による評価	
	総合化学院	北海道大学大学院総合化学院(パンフレット)	不定期	H26年1月	総合化学院のコース及び講座の概要、授業科目を掲載
		北海道大学大学院総合化学院英語版(パンフレット)	不定期	H23年10月	総合化学院のコース及び講座の概要、授業科目を掲載
		学生便覧	年1回	H26年度版	総合化学院の行事予定、履修・学位取得・学生生活に関する事項、規程関係等を掲載
授業計画(シラバス)		年1回	H26年度版	開講科目、実行教育課程表、授業の目標、到達目標、授業計画、成績評価の基準と方法を掲載	
年次報告書(アニュアルレポート)		年1回	H26年度版	総合化学院の特色ある教育活動、学生状況、分野(研究室)の教育研究活動を掲載	
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	学生便覧(公共政策大学院)	年1回	H26年3月	授業日程、学内規程や履修方法の周知及び学生生活全般の案内	
	講義要領(公共政策大学院)	年1回	H26年3月	開講科目一覧、授業内容、教材・評価方法等の案内	
	Hokkaido University Public Policy School	年1回	H26年4月	公共政策大学院の教育プログラム、教員の紹介、入試制度等を掲載	
	外部評価委員会評価報告書	不定期	H26年3月	公共政策学連携研究部・教育部の外部評価報告書	
北海道大学病院	北海道大学病院概要	年1回	H26年度版	診療実績等の概要を掲載	
	北海道大学医学部附属病院自己点検・評価報告書	不定期	H13年3月	新しい世紀に向けた、1998~2000年における報告書	
	北海道大学病院 初期医師臨床研修プログラム	年1回	H27年度版	医師臨床研修プログラムを掲載(H18年度版よりパンフレット形式)	
	北海道大学病院 歯科医師卒後臨床研修プログラム	年1回	H26年度版	歯科医師臨床研修プログラムを掲載	
	北海道大学病院 地域医療連携福祉センター ニュースレター	年2回	H26年5月	各診療科外来診療等紹介や院内の最新情報等を掲載	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
低温科学研究所	北海道大学低温科学研究所概要	隔年	H26年7月	研究所の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	北海道大学低温科学研究所紹介ビデオ (日本語版・英語版)	1回	H8年7月	研究所の研究内容等を紹介
	北海道大学低温科学研究所紹介DVD (日本語版・英語版)	1回	H12年3月	研究所の研究内容等を紹介
	北海道大学低温科学研究所年次自己点検 評価報告書-年報-	年1回	H26年8月	研究所の活動状況、研究成果、自己点検評価の結果を掲載 (年報)
	北海道大学低温科学研究所外部点検評価 報告書	不定期	H19年3月	研究所の組織及び運営、教員人事、研究活動、大学院 教育及び社会教育等の外部評価を掲載
	低温研ニュース	年2回	H26年6月	研究紹介、シンポジウム報告、共同研究、人事異動等 を掲載
	環オホーツク観測研究センターリーフレット (日本語版・英語版)	不定期	H26年9月	環オホーツク観測研究センターの研究内容を紹介
	研究所で学びたい学生のための低温科学 研究ガイド [分野別ピックアップ]	不定期	H23年7月	研究所の研究内容を紹介
	北海道大学低温科学研究所 [ダイジェス トガイド]	不定期	H23年11月	研究所の歴史、最新の研究内容、組織を紹介
遺伝子病制御研究所	北海道大学遺伝子病制御研究所概要	隔年	H24年9月	目的と使命、沿革、歴代所長・施設長及び名誉教授、 機構、職員、研究活動、共通施設、教育活動、北海道 大学配置図を掲載
	北海道大学遺伝子病制御研究所年報	年1回	H26年2月	総論、機構、経費、研究活動、教育活動、研究支援組 織、教員人事、各種委員会等を掲載
	北海道大学遺伝子病制御研究所外部評価 報告書	不定期	H26年8月	理念・目標、沿革、研究体制と将来構想、中期目標・中 期計画、研究、教育、社会貢献活動、国際交流、管理 運営等、施設、共同利用・共同研究拠点、附属施設、 各分野における研究概要と成果等を掲載
	IGM News Letter	年3回	H26年10月	トピックス、お知らせ、研究業績紹介、新任教員紹介、 新講座開設等を掲載
電子科学研究所	北海道大学電子科学研究所 (概要)	隔年	H24年7月	研究所の沿革、組織、職員数等の概要を掲載
	北海道大学電子科学研究所 (パンフレット)	不定期	H25年3月	学生向け研究所案内
	研究活動-点検評価報告書-	年1回	H26年3月	研究所の研究成果・活動、国際交流、教育活動等を掲載
触媒化学研究センター	触媒化学研究センター外部点検評価報告書	不定期	H25年3月	センター外の委員で組織された委員会による点検評価 報告
	触媒化学研究センター概要	年1回	H26年9月	センターの沿革、組織、研究概要を掲載 (英文併記)
	触媒化学研究センター年報	年1回	H26年3月	沿革、組織、研究活動状況、教育活動状況を掲載
スラブ・ ユーラシア研究センター	SLAVIC RESEARCH CENTER HOKKAIDO UNIVERSITY (概要)	不定期	H21年11月	センターの沿革、組織、職員紹介、研究活動等を掲載
	北海道大学スラブ・ユーラシア研究セ ンターニュース	年4回	H26年8月	センターの最新の研究・行事・人事等の活動状況を掲載
	スラブ・ユーラシア研究センターを研究 する (北海道大学スラブ・ユーラシア研 究センター点検評価報告書)	3年に1回	H26年8月	センターの自己点検評価報告、外部評価報告、活動記 録報告
	ACTA SLAVICA IAPONICA (欧文学術雑誌)	年2回	H26年3月	投稿論文を欧文で掲載 (レフェリー制)
	スラヴ研究 (和文学術雑誌)	年1回	H26年7月	投稿論文を和文で掲載 (レフェリー制)
	スラブ・ユーラシア研究報告集	不定期	H26年3月	研究報告会等での報告抄録等を掲載
	Slavic Research Center News	年1回	H26年3月	センターの研究・行事・人事等の活動状況を欧文で掲載
	Slavic Eurasian Studies (欧文論集)	不定期	H26年3月	シンポジウムのペーパー等を欧文で掲載
	比較地域大国論集	不定期	H26年3月	新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」に 関する報告抄録等を掲載
	Eurasia Border Review	年2回	H26年3月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に 関する報告抄録等を掲載
	境界研究	年1回	H26年3月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に 関する投稿論文を和文で掲載 (レフェリー制)
	スラブ研究センター・レポート	不定期	H23年3月	研究報告会等での報告抄録等を掲載 (WEB版)
	スラブ・ユーラシア研究者名簿	不定期	H24年3月	スラブ・ユーラシア地域研究者の名簿
	スラブ・ユーラシア研究センター (SRC) メールマガジン	月1回	H26年10月	センターの行事や研究会の予定、募集等について掲載
	情報基盤センター	情報基盤センター外部評価報告書	不定期	H19年3月
情報基盤センター概要		年1回	H26年9月	センターの沿革、組織、研究概要を掲載
情報基盤センター概要 (英語版)		隔年	H24年7月	センターの沿革、組織、研究概要を英文で掲載
情報基盤センター年報		年1回	H25年11月	センターの沿革、組織、研究活動状況、教育活動状況 を掲載
大型計算機システム (iiC-HPC) ニュース		年4回	H26年10月	大型計算機システムに関する情報提供
HINES-WORLD		隔年	H25年4月	情報ネットワーク利用案内
教育情報システム概要		不定期	H19年4月	教員向け教育情報システム利用の案内
教育情報システム 利用規則および適正利用の手引き		年1回	H26年4月	教育情報システム規則及び利用の手引き

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
情報基盤センター	教育情報システム 教育情報システムELMS	年1回	H26年4月	教育情報システム利用の案内
	ELMSサイトライセンスソフトウェアのご 利用案内	年1回	H26年4月	ELMSサイトライセンスソフトウェアに関する利用の 案内
アイソトープ総合センター	センター概要	不定期	H25年11月	センターの施設案内、沿革等を掲載
	アイソトープ総合センター利用案内	隔年	H25年2月	センターの利用に関する規程等、利用に関する情報を わかりやすく掲載
	北海道大学アイソトープ総合センター自 己点検・評価報告書	年1回	H26年7月	センターの利用状況、共同研究一覧、活動報告等を掲載
	センターニュース (CIS NEWS)	年1回	H26年2月	センターの最新機器の紹介、講義、講習会のお知らせ 等のニュースを掲載
総合博物館	第I期学術資料展示パンフレット (アイ ランド・アーク)	1回	H14年3月	第I期学術資料展示の概要及び展示学術標本資料を詳 細に紹介
	重要文化財札幌農学校第2農場パンフレ ット (見学者配付用資料)	1回	H16年度	重要文化財札幌農学校第2農場を見学者に紹介
	Where northern land and ocean meet Island Arc - Rocks, Minerals, Ore Deposits, Fossils, Strata, and Their History -	1回	H16年3月	第I期学術資料展示パンフレット (アイランド・ア ーク) の英語版
	総合博物館展示リーフレット (見学者配 付用資料)	1回	H25年6月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を 見学者に紹介
	An Introduction to The Hokkaido University Museum	1回	H25年9月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を 見学者に紹介 (リーフレット)
	北海道大学総合博物館概要	年1回	H24年度版	博物館の目的・沿革・組織・教育研究活動内容等を掲載
	北大歴史展示概要 (英語版・中国語版・ 韓国語版)	1回	H15年度	北大歴史展示の概要
	北海道大学総合博物館外部点検評価報告 書 (2010)	不定期	H23年3月	外部点検評価委員会による総合博物館の評価
	北海道大学総合博物館点検評価報告書 (2004-2006年度)	1回	H19年7月	北海道大学総合博物館点検評価委員会委員による総合 博物館の評価
	北海道大学総合博物館研究報告	年1回	H26年3月	研究報告 No1 (2003.3), No2 (2004), No3 (2006), No4 (2008.3), No5 (2009.12), No6 (2013.3), No7 (2014.3)
	北海道大学総合博物館年報	年1回	H24年1月	博物館及び博物館教員の活動記録 H16年度 (2004.1.31) H18・19年度 (2006.12.1) H20・21年度 (2012.3.1) H22・23年度 (2013.1.1)
	北海道大学総合博物館ニュース	年2回	H26年6月	博物館の活動状況・出来事・ニュース・特別寄稿等を 掲載 No.1 (1999.7) -29 (2014.6)
	北大理学部教授室N123 中谷宇吉郎研究室	1回	H16年3月	「北大理学部教授室N123 中谷宇吉郎研究室」復元 展示の図録
	北海道大学キャンパス 台風18号の爪痕	1回	H16年12月	平成16年9月8日の台風18号襲来直後の北大札幌キャン パスにおける被害状況の記録
	北海道大学の学問の系譜 - 北大学派の学風 -	1回	H17年3月	北大学派をつくった研究者たちを紹介
	北海道大学に通底する精神と教育思想の 歴史	1回	H17年6月	札幌農学校時代から現在に至るまで北海道大学に通底 する精神・教育思想の歴史を紹介
	エコキャンパス読本<改訂版> - 植物篇 付・鳥類リスト -	1回	H21年3月	北大キャンパスで見られる植物を紹介
	北大エコキャンパス読本<改訂版>- 考 古学編 -	1回	H23年3月	遺跡群から見た北大キャンパス周辺域の歴史
	北大エコキャンパス読本- 植物園編 -	1回	H22年2月	北大植物園で見られる植物を紹介
	北大エコキャンパス読本- 建築遺産編 -	1回	H23年3月	北大キャンパスの歴史や歴史的建物、建築に関わった 人々についての一端を紹介
	バラタクソノミスト養成講座・ガイドブック	10回	H21年3月~ H23年3月	バラタクソノミスト養成講座の教材 シリーズ1: 昆虫 (初級) 採集・標本作製編 シリーズ2: きこの (初級・中級) ハラタケ目編 シリーズ3: DNA (初級) 編 シリーズ4: 植物 (初級) 採取・標本作製編 シリーズ5: 土器 (初級) 土器の観察・記録編 シリーズ6: 土壌ダニ (初級・中級) 採取・標本作製編 シリーズ7: 鉄器の観察・記録・保存法 (初級) 編 シリーズ8: マルハナバチ属昆虫 (中級) 編 シリーズ9: 石器 (初級) 編 シリーズ10: 鉱床 (中級) 鉱床鉱物の観察・同定編
	魚類の多様性	1回	H16年2月	第5回企画展示「魚類の多様性- 5億年の進化の歴 史-」の図録
	きこの自然史	1回	H16年3月	第7回企画展示「きこの自然史」の図録
	内田正練とその時代	1回	H17年4月	第20回企画展示「内田正練とその時代- 日本にクロー ルがもたらされた頃-」の図録
	北大樺太研究の系譜 サハリンの過去・現在・未来	1回	H18年6月	第30回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示 「北大樺太研究の系譜~サハリンの過去・現在・未 来~」の図録

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
総合博物館	北海道大学の山小屋	1回	H18年5月	第33回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示「北大の山小屋展」の図録	
	モンゴル大恐竜 ゴビ砂漠の大型恐竜と鳥類の進化	1回	H18年7月	第35回企画展示「モンゴルの恐竜－大型恐竜と鳥類の進化－」の図録	
	北大千島研究の系譜 千島列島の過去・現在・未来	1回	H19年2月	第43回企画展示 北海道大学創基130周年記念企画展示「北大千島研究の系譜～千島列島の過去・現在・未来～」の図録	
	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 フェアブルにまなぶ	1回	H19年6月	第46回企画展示 『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画「フェアブルにまなぶ」の図録	
	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画 フェアブルにまなぶ プチガイド	1回	H19年7月	第46回企画展示 『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画「フェアブルにまなぶ」の子供向けガイド	
	水産科学館分館化・水産学部創基100周年記念 水産科学館に蓄積された水産学部100年の歴史	1回	H20年3月	第52回企画展示「水産科学館分館化・水産学部創基100周年記念 水産科学館に蓄積された水産学部100年の歴史」の図録	
	ライマンと北海道の地質 －北からの日本地質学の夜明け－	1回	H20年8月	第57回企画展示「ライマンと北海道の地質」の図録	
	洞爺湖・有珠火山地域の環境と資源 Environment and Resources of Lake Toya and Usu Volcano Area	1回	H20年6月	第58回企画展示 2008年G8洞爺湖サミット関連「洞爺湖・有珠火山地域の環境と資源」の図録	
	カレル・チャペック その生涯と時代 没後70周年展 1890-1938	1回	H20年10月	第60回企画展示「カレル・チャペック 1890-1938 その生涯と時代 没後70周年展」の図録	
	teetasinrit tekrukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料－受けつぐ技－	1回	H21年2月	第63回企画展示「teetasinrit tekrukoci」の図録	
	北大分類学の系譜	1回	H21年8月	第65回企画展示「生物多様な部屋」の図録	
	TOYOJI HIKITA Photo Exhibition	1回	H21年10月	第66回企画展示「疋田豊治ガラス乾板写真展」の図録	
	マキシモヴィッチ・長之助・宮部	1回	H22年3月	第69回企画展示「花の白露交流史－幕末の箱館山を見た男」の図録	
	アラスカの恐竜	1回	H22年7月	第70回企画展示「アラスカの恐竜－アジアをめざした生命」の図録	
	わが街の文化遺産 札幌軟石	1回	H23年3月	第70回企画展示「わが街の文化遺産 札幌軟石 歩いた！探した！見つけた！」の図録	
	豊平川と私たち	1回	H23年3月	第73回企画展示「豊平川と私たち－その生いたちと自然」の図録	
	「チョウとガ」が超わかる本	1回	H23年6月	第76回企画展示 レビドプテラ「空を舞う昆虫たち－チョウとガの世界」 プチガイド	
	クラーク博士と札幌の植物	1回	H24年3月	第77回企画展示「クラーク博士と札幌の植物」の図録	
	川嶋昭二先生 海藻画作品集	1回	H24年7月	企画展示「藻類が人類の未来を救う」図録別冊	
	ワニと恐竜の共存 巨大ワニと恐竜の世界	1回	H25年7月	企画展示「巨大ワニと恐竜の世界」解説書	
量子集積エレクトロニクス 研究センター	北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター（概要・和文）	不定期	H24年10月	センターの目的、組織、研究内容等を掲載	
	北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター（概要・英文）	不定期	H24年10月	センターの目的、組織、研究内容等を掲載	
	量子集積エレクトロニクス研究（研究報告）	年1回	第13巻 H26年6月	センターの研究目的、組織、研究内容、施設・設備と、研究活動及び研究成果の報告	
	量子集積エレクトロニクス研究センター国際セミナー予稿集	隔年	H24年3月	センター主催で開催する国際セミナー論文集	
北方生物圏フィールド科学センター	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター概要	不定期	H22年2月	沿革、組織、研究内容等の概要を掲載	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター年報	年1回	H26年3月	各施設の教育・研究動向、職員の研究業績一覧、施設の利用状況等を掲載	
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター News Letter	年複数回	H25年8月	センターの活動紹介、イベントなどのお知らせ、ショートエッセイ等を掲載	
	森林圏ステーション	演習林研究報告	年2回	H25年1月	森林科学関連分野及び森林圏ステーション関連の研究論文（和文）を掲載。国内外の関係機関等にも送付
		Eurasian Journal of Forest Research	年2回	H26年8月	「演習林研究報告」の英語論文分冊。国内外の関係機関等にも送付
		森林圏ステーション年度報告	年1回	H26年2月	森林圏ステーション管理面の資料を掲載
		北方森林保全技術	年1回	H26年2月	森林圏ステーション技術系職員が試験年報報告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付
		森林圏ステーション概要	不定期	H16年9月	施設の紹介
	耕地圏ステーション	北海道大学生物生産研究農場概要	不定期	H14年9月	農場の沿革、部門紹介、組織等の概要を掲載
		北海道大学生物生産研究農場研究報告	隔年	H17年12月	農場を利用した研究の報告
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション生物生産研究農場（概要パンフレット）	不定期	H14年3月	農場の沿革、組織等の概要を掲載
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター耕地圏ステーション生物生産研究農場余市果樹園（リーフレット）	不定期	H16年1月	余市果樹園の解説
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場技術業務報告		年1回	H21年3月	農場における圃場管理や家畜飼養に関する技術業務を掲載	

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等
北方生物圏フィールド科学センター	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園（概要パンフレット）英語併記	不定期	H20年9月	植物園の沿革、組織等の概要を掲載
	植物園だより（リーフレット）	年6回	H26年10月	園内植物の解説
	北海道大学植物園（リーフレット）	年1回	H23年8月	植物園内の解説
	北海道大学植物園（リーフレット）英語版	年1回	H25年7月	植物園内の解説
	北海道大学植物園（リーフレット）中国語版	年1回	H25年7月	植物園内の解説
	北海道大学植物園（リーフレット）韓国語版	年1回	H25年7月	植物園内の解説
	北大植物園技術報告・年次報告	年1回	H26年3月	植物園の活動内容
	MIYABEA sive Illustrated Flora of Hokkaido	不定期	H11年10月	研究報告
	北大植物園研究紀要	年1回	H25年9月	研究報告
	北大植物園資料目録	不定期	H25年9月	資料目録
耕地園ステーション	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター静内研究牧場研究報告	不定期	H13年3月	牧場を利用した研究の報告
	全国大学水産実験所要覧	不定期	H18年10月	施設の概要、地域の環境、教育・研究活動、交通、職員、利用手続きを掲載
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所概要	不定期	H11年4月	施設の概要（施設紹介、沿革、利用方法、所在地、研究内容等）
	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所要覧	不定期	H19年4月	施設の要覧（施設紹介、沿革、研究内容、所員名、出版物、施設設備、利用方法等）
水圏ステーション	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所報告	不定期	H19年3月	所員及び研究目録、業績目録、科学研究費等補助金、利用者リスト及び研究、利用状況、利用者業績目録、教育・社会教育活動、気象・海洋観測データ（各内容を英語及び日本語で掲載）
	北海道大学脳科学研究教育センター概要	不定期	H25年3月	センターの組織、発達脳科学専攻（パッチャル専攻）の概要等を掲載
脳科学研究教育センター	脳科学研究教育センター発達脳科学専攻教育プログラム概要・授業要項（シラバス）	年1回	H26年3月	発達脳科学専攻の概要、授業要項等を掲載
	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター（日本語・英語版）	不定期	H26年9月	人獣共通感染症リサーチセンターの概要を掲載
人獣共通感染症リサーチセンター	人獣共通感染症リサーチセンター年報	不定期	H26年3月	センターの概要、組織、研究活動、教育活動等を掲載
	北海道大学大学図書館年報	年1回	H26年3月	研究論文、資料紹介・目録、業務記録等を掲載
大学図書館	北海道大学大学図書館資料叢書	不定期	H22年3月	資料翻刻、解説等を掲載
	北海道大学大学図書館リーフレット	不定期	H23年7月	大学図書館の概要、所蔵資料の紹介、利用に関する案内等を掲載
	学内文書・資料の移管・保存ガイド	不定期	H18年12月	大学図書館における学内文書・資料の移管・整理・保存の流れ、利用に関する案内等を掲載
	個人資料の整理・保存・活用ガイド	不定期	H21年3月	大学図書館における個人資料の受贈・整理・保存・活用の流れ等を掲載
観光学高等研究センター	観光学高等研究センター	不定期	H23年3月	観光学高等研究センターの紹介
外国語教育センター	HOKKAIDO UNIVERSITY CENTER FOR LANGUAGE LEARNING	不定期	H21年4月	外国語教育センターの紹介
アイヌ・先住民研究センター	アイヌ・先住民研究センター案内（パンフレット）	不定期	H26年6月	アイヌ・先住民研究センターの役割、特徴及び同センターで実施するプロジェクトを紹介
	北海道大学アイヌ・先住民研究センターニュースレター	不定期	H24年6月	アイヌ・先住民研究センターが実施した講演会等の内容、各研究事業の成果及び今後のイベント等を紹介
	富田友子採録・採譜・解説 西平ウメ伝承トンコリ楽曲集	不定期	H24年3月	アイヌの伝統楽器トンコリ（五弦琴）の教則本としても使えるよう、伝承曲を楽譜にして紹介
	アイヌと境界（パンフレット）	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターの「博物館プロジェクト」が2011年に主催した博物館展示の内容を紹介
	北米先住民ヤキの世界（パンフレット）	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターの「博物館プロジェクト」が2011年に主催した博物館展示の内容を紹介
	日本国憲法と先住民であるアイヌの人びと（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット）	不定期	H25年2月	アイヌ・先住民研究センターが2011年10月に主催した講演会の講演内容を紹介
	トンコリの世界（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット）	不定期	H26年3月	アイヌの伝統的楽器トンコリ伝承者の富田友子氏に対するインタビューをまとめて楽曲だけでなくトンコリの作り方なども紹介
	The Ainu: Indigenous People of Japan（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット）	不定期	H26年6月	ワシントンD.C.での国際シンポジウムにおける報告をまとめ、現代のアイヌ民族の活動等を海外に向けて英文で紹介
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活と意識	不定期	H22年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査（アンケート調査）に関する報告書
	2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活の歩みと意識の変容	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2009年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査（インタビュー調査）に関する報告書

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
アイヌ・先住民研究センター	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活と意識の多様性	不定期	H26年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査の結果を再分析した報告書	
	Report on the 2008 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H22年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する報告書の英語版	
	Report on the 2009 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2009年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する報告書の英語版	
	Report on the 2008 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H26年3月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査の結果を再分析した報告書の英語版	
	沖縄におけるガイドツアーの運営実態に関する事例調査	不定期	H23年3月	アイヌ・先住民研究センターがエコツーリズム・プロジェクトの一環として実施した事例調査の報告書	
	現代アイヌの生活の歩みと意識の変容	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2009年に実施したインタビュー調査に関する報告書	
	新しいアイヌ史の構築 先史編 古代編 中世編	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施した「アイヌ史プロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	世界のなかのアイヌ・アート	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施した「先住民民族アートプロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	先住民文化遺産とツーリズム-アイヌ民族における文化遺産活用の理論と実践	不定期	H24年3月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施した「先住民文化遺産とツーリズムプロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	にかほ市泉湯郷土資料館所蔵森家旧蔵「蝦夷方言藻汐草 全」翻刻・解題	不定期	H25年3月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施した「古文書プロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	藤山ハル口述・村崎恭子採録・著 樺太アイヌ語例文集(1)	不定期	H25年3月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施した「アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	和田文治郎 樺太アイヌ説話集1	不定期	H25年3月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施した「アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト」の研究成果に関する報告書	
	アイヌ語調査資料のデータベース化に関する基礎的研究(2)	不定期	H25年3月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施した「アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト」の研究成果に関する報告書	
社会科学実験研究センター	北海道大学社会科学実験研究センター自己点検評価	不定期	H24年7月	社会科学実験研究センターの概要、教育研究活動の実績、組織構成を掲載 センターHPよりダウンロード可能	
	北海道大学社会科学実験研究センター案内(パンフレット)	不定期	H22年3月	社会科学実験研究センターの概要、実験室等の研究設備とその利用状況、研究成果を紹介	
情報法政策学研究中心	知的財産法政策学研究	不定期	H26年3月	知的財産法政策学研究に関する研究報告	
数学連携研究センター	RCIM LETTERS	不定期	H23年12月	研究レポート、数学連携サロン記録、委員名簿等を掲載	
産学連携本部	産学官連携の手引き	年1回	H26年8月	産学連携本部の業務内容説明及び産学官連携のための案内	
	北海道大学 産学連携本部	年1回	H25年8月	産学連携本部の概要紹介	
	北海道大学 研究シーズ集2014	年2回	H26年3月	北海道大学の研究シーズを分野別に紹介	
人材育成本部	上級人材育成ステーション S-cubicリーフレット	不定期	H26年3月	S-cubicの事業紹介	
	S-cubic通信	不定期	H26年3月	DC・PDを対象とした進路選択のガイドブック	
	北大バイオニア人材協働育成システムの構築-バイオニア実践プログラム-	不定期	H26年1月	HoP-Stationの事業紹介	
創成研究機構	北大リサーチ&ビジネスパーク	不定期	H21年6月	北キャンパスに立地する各研究機関・施設(学外設置分含む)の紹介	
	北の創成力。	不定期	H24年1月	創成研究機構の活動紹介	
	創成ニューズレター CRIS TIMES	不定期	H26年3月	創成研究機構の活動紹介	
	北海道大学 創成研究機構	不定期	H25年9月	創成研究機構の組織紹介	
	北大を特徴づける研究機関 創成研究機構 構成組織	不定期	H25年10月	創成研究機構各構成組織の紹介及び研究・活動内容の紹介	
	同位体顕微鏡システム	不定期	H26年5月	文部科学省：先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」事業の紹介及び利用募集	
	同位体顕微鏡	不定期	H25年4月	文部科学省：先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」事業における坂本教授のインタビュー(リテラボプリ29号を元に作成)	
	共用機器管理センター	不定期	H26年5月	創成研究機構共用機器管理センターの紹介	
	オープンファシリティ	不定期	H26年9月	創成研究機構オープンファシリティの紹介	
	オープンファシリティプラットフォーム	不定期	H26年8月	オープンファシリティプラットフォームの紹介	
国際本部	留学生センター	北海道大学留学生センター年報	年1回	H26年3月	日本語教育部・留学生指導部・短期留学部活動報告、授業実施報告、留学生センター研修事業等を掲載
		北海道大学留学生センター紀要	年1回	H23年12月	研究論文、研究ノート、実践報告
	国際連携課	北海道大学概要(英語版)	年1回	H26年11月	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載
		Hokkaido University Magazine(英語版)	年1回	H25年12月	本学のニュースを掲載
		Campus Guide Map(北海道大学キャンパスガイドマップ 英語版、中国語版、韓国語版)	年1回	H26年10月	本学の地図、沿革、組織等、概要を掲載

部局名	広報誌等名	発行回数	最新版発行年月	掲載内容等	
国際本部	国際連携課	多言語チラシ/Foreign Language Brochures (ベトナム語, タイ語, ポルトガル語, ビルマ語, ドイツ語)	不定期	H26年10月 (ドイツ語の場合。その他言語はH23年より作成)	1枚または両面の大学案内(大学紹介, 部局数, 等)
		ソウルオフィス リーフレット(日本語版, 韓国語版)	不定期	H26年5月	ソウルオフィスの施設案内
		ヘルシンキオフィス リーフレット(英語版)	不定期	H24年6月	ヘルシンキオフィスの施設案内
		ルサカオフィス リーフレット(英語)	不定期	H24年8月	ルサカオフィスの施設案内
		北海道大学概要(中国語版)	不定期	H26年10月	中国人留学生向けの大学案内(中国語版 大学概要) 発行:北京オフィス
	国際教務課	外国人留学生のための北海道大学案内(International Student Prospectus) 日本語版, 英語版	年1回	H24年3月	留学を希望する海外の学生等向けに, 入学手続・奨学金等の一般的な情報を掲載
		Modern Japanese Studies Program (MJSP)	年1回	H26年10月	現代日本学プログラムの概要を掲載
		英語によるコースガイド(International degree program)	年1回	H26年1月	本学の英語で習得できる授業名, コース内容などを掲載
		HANDBOOK FOR INTERNATIONAL STUDENTS	年1回	H26年8月	在学中の留学生に必要な手続き及び生活情報を提供
		Hokkaido University Short-Term Exchange Program (シラバスを含む)	年1回	H25年12月	北海道大学短期留学プログラムHUSTEPの紹介及び開講科目の授業内容等を掲載
		JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE STUDIES PROGRAM (JLCSP)	年1回	H25年12月	北海道大学短期留学プログラムJLCSPの紹介及び開講科目の授業内容等を掲載
		北海道大学国際交流科目	年2回	H26年9月	北海道大学国際交流科目の講義内容等を掲載
		北海道大学留学生センター 日本語授業概要	年2回	H26年9月	北海道大学留学生センター日本語授業の講義内容等を掲載
		留学しよう! 北大生のための留学ハンドブック	年1回	H26年3月	北大生のための留学情報提供誌
	留学生指導教員のための留学生支援ガイド	不定期	H23年3月	指導教員のための留学生指導ハンドブック	
	高等教育推進機構	高等教育ジャーナル - 高等教育と生涯学習 -	年1回	H26年3月	広く高等教育に関する論文・報告等を公開
ニュースレター		年4回	H26年7月	高等教育推進機構の活動を報告	
サステイナブルキャンパス推進本部	Sustainable Initiative	不定期	H25年3月	サステイナブルキャンパス推進本部発足の経緯, 組織概要, 業務内容, 本学の目指すサステイナブルキャンパスについて掲載	
		年1回	H26年9月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ, 2013年度の環境に関連する教育研究活動やエネルギー・水等の使用量の状況を掲載	
		年1回	H26年9月	環境報告書の日本語版を22頁にまとめた海外向けの報告書	
	環境保全センター	環境保全センター(概要)	不定期	H15年3月	センターの沿革, 組織, 業務, 廃液の処理過程等を紹介
		環境保全センター報	不定期	H23年2月	センターの活動報告と環境安全問題についての寄稿文を掲載
埋蔵文化財調査室	北海道大学埋蔵文化財調査室ニュースレター	不定期	H26年10月	構内の遺跡, 埋蔵文化財調査室の活動内容を紹介	
	北大構内の遺跡	不定期	H25年3月	北大構内(札幌キャンパス)における埋蔵文化財の調査報告	
	人文・社会科学総合教育研究棟地点発掘調査報告書	1回	H17年3月	人文・社会科学総合教育研究棟地点における埋蔵文化財の調査報告	
	工学部共用実験研究棟地点発掘調査報告書	1回	H23年3月	工学部共用実験研究棟地点における埋蔵文化財の調査報告	

(総務企画部広報課)

編集メモ

●広報誌「リテラポブリ」54号が発行になります。

今回の特集ページでは“シナジー”をテーマに、「GI-CoRE」「総合入試」「余市果樹園」を取り上げ、本学の幅広い取り組みを紹介しています。また、色彩豊かなキャンパス写真を数多く使用していますので、ぜひご覧ください。

◆ <http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/litterae.html>





2005.11.20 室蘭本線 礼文～小幌（豊浦町）

北の鉄道風景 20 初雪の朝

札幌で初雪が観測される日の平年値（1981～2010年の30年間）は10月28日だが、温暖化などの影響で、最近では11月にずれ込むことが多いようだ。しかし、記録的な猛暑に見舞われた2010年の札幌における初雪観測日は10月26日であり、市内の一部地域では積雪が30cm超のドカ雪となった。温暖化で冬の訪れは遅いだろうと油断してはいけない、ということ

だろうか。写真は室蘭本線の礼文華峠、初雪の朝の光景である。前日から続いた雨が夜半には雪に変わり、初雪の朝を迎えた。落葉松の黄葉が雪化粧した山路を駆けるのは、札幌へ向かう寝台特急列車「北斗星」である。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ⑪ No.728 平成26年11月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html